

建築基準法第6条の2第1項の規定による

## 確認済証

第2020SBC-確01662M号

令和3年3月26日

株式会社ハウスコーポレーション  
代表取締役 柿内一浩 様

株式会社 湘南建築センター  
代表取締役 関 和廣



下記による計画は、建築基準法第6条第1項（建築基準法第6条の4第1項の規定により読み替えて適用される同法第6条1項）の建築基準関係規定に適合していることを証明する。

### 記

1. 建築場所、設置場所又は築造場所

神奈川県横浜市金沢区

富岡東四丁目62番8

2. 建築物、建築設備若しくは工作物又はその部分の概要

1) 建築物の名称 プレシヤスステージ富岡東新築工事

2) 主要用途 (08010) 一戸建ての住宅

3) 工事種別 新築

4) 延べ面積 申請部分 78.86 m<sup>2</sup>

申請以外の部分 0.00 m<sup>2</sup>

合 計 78.86 m<sup>2</sup>

5) 申請棟数 1 棟

6) 主たる建築物の構造 木造（軸組工法）

7) 主たる建築物の階数 地階を除く階数（地上階数） 2

地階の階数 0

8) 天空率の適用 ☐有 ☒無

☐道路高さ制限不適用

☐隣地高さ制限不適用

☐北側高さ制限不適用

3. 確認を行った確認検査員氏名 石井 健二

4. 適合判定通知書の番号

5. 適合判定通知書の交付年月日 年 月 日

6. 適合判定通知書の交付者

(注意) この証は、大切に保存しておいてください。

## 着工から完了までのご案内（概要）

### ◆◆ 工事着手前の手続き ◆◆

「工事監理者」又は「工事施工者」が未定の場合、必ず着工までに届出して下さい。

（※届出のない場合、中間検査、完了検査の申請（引受）は出来ません。ご注意下さい。）

（※監理者・施工者の追加・変更等された場合、事務所名称や住所等変更の場合も同様です。）

届出様式

SBC第17号様式 【工事監理者等届】

### ◆◆ 着工後の検査・手続き ◆◆

「中間検査申請」・・・\*建築物に限ります。

中間検査の適用は、確認済証の申請書三面【17】欄で必ずご確認下さい！

（※住宅系用途の場合、瑕疵担保保険、建設性能評価、フラット中間検査との関係にもご留意下さい。）

代表的な例		特定工程の名称（参考例）	提出資料（例）
木造2階建 戸建住宅	軸組工法	屋根の小屋組工事及び構造耐力上主要な軸組の工事	・基礎配筋写真 ・金物図面
	枠組壁工法	屋根の小屋組工事及び耐力壁の工事	
RC造3階建共同住宅		2階の床及びこれを支持するはりに鉄筋を配置する工事	・基礎配筋写真

⇒ 中間検査に合格していない建築物の完了検査の申請（引受）は出来ません。

中間検査を怠った場合、建築士法の処分対象となる場合があります。ご注意下さい。

### 「軽微な変更」

計画の変更は、規則第3条の2に掲げる事項のみ“軽微な変更”として扱えます。

⇒ 直近の検査申請時に「軽微な変更説明書」を忘れずに提出して下さい。

### 「計画変更確認申請」

上記以外の変更は、当該個所の施工前に「計画変更確認申請」が必要です。

（※計画変更確認済証の交付を受けず変更箇所等の施工した場合、建築基準法違反で処分される場合があります。ご注意下さい。）

### 「完了検査申請」

工事完了する前に、完了検査申請書の提出をお願い致します。

（※工事完了後4日以上経過した場合、指定機関は検査引受が出来ません。）

⇒ 検査予約は一週間前までに、申請書提出は検査日の4営業日前までに。

⇒ 関係規定（開発許可、宅造許可、消防法など）の検査済証もご用意下さい。



SBC第1-1号様式（第17条関係）（A4）（規則第二号様式に基づく様式）  
（第一条の三、第三条、第三条の三関係）

## 確認申請書（建築物）

（第一面）

建築基準法第6条の2第1項の規定による確認を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。また、申請にあたっては、株式会社湘南建築センター確認検査業務規程及び同確認検査業務約款を遵守いたします。

株式会社 湘南建築センター

様

R3年3月18日

申請者氏名 株式会社ハウスコーポレーション  
代表取締役 柿内一浩

印

設計者氏名 北原 英樹

印

※手数料欄			
※受付欄	※消防関係同意欄	※決裁欄	※確認番号欄
第 03.3.18受 係員印 第1662M号			第 号 係員印

(第二面)

建築主等の概要

【1. 建築主】

【イ. 氏名のフリガナ】 カブシカイシャ ハウスコーポレーション グレイアウトリミテッド カキチ カズヒロ  
【ロ. 氏名】 株式会社ハウスコーポレーション 代表取締役 柿内一浩  
【ハ. 郵便番号】 221-0842  
【ニ. 住所】 横浜市神奈川区泉町17番地9  
【ホ. 電話番号】 045-324-1112

【2. 代理者】

【イ. 資格】 (一級 ) 建築士 (大臣 ) 登録第 274682 号  
【ロ. 氏名】 北原 英樹  
【ハ. 建築士事務所名】 (一級 ) 建築士事務所 (神奈川県知事) 登録第 15616 号  
株式会社 建築設計 Led-Eye. 一級建築士事務所  
【ニ. 郵便番号】 252-0216  
【ホ. 所在地】 相模原市中央区清新 5-5-8 小山コート 2A2  
【ヘ. 電話番号】 042-705-5533

【3. 設計者】

(代表となる設計者)

【イ. 資格】 (一級 ) 建築士 (大臣 ) 登録第 274682 号  
【ロ. 氏名】 北原 英樹  
【ハ. 建築士事務所名】 (一級 ) 建築士事務所 (神奈川県知事) 登録第 15616 号  
株式会社 建築設計 Led-Eye. 一級建築士事務所  
【ニ. 郵便番号】 252-0216  
【ホ. 所在地】 相模原市中央区清新 5-5-8 小山コート 2A2  
【ヘ. 電話番号】 042-705-5533  
【ト. 作成又は確認した設計図書】 確認申請図書一式

(その他の設計者)

【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
【ロ. 氏名】  
【ハ. 建築士事務所名】 ( ) 建築士事務所 ( ) 登録第 号

【ニ. 郵便番号】  
【ホ. 所在地】  
【ヘ. 電話番号】  
【ト. 作成又は確認した設計図書】

【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
【ロ. 氏名】  
【ハ. 建築士事務所名】 ( ) 建築士事務所 ( ) 登録第 号

【ニ. 郵便番号】  
【ホ. 所在地】  
【ヘ. 電話番号】  
【ト. 作成又は確認した設計図書】

【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
【ロ. 氏名】  
【ハ. 建築士事務所名】 ( ) 建築士事務所 ( ) 登録第 号

【ニ. 郵便番号】  
【ホ. 所在地】  
【ヘ. 電話番号】  
【ト. 作成又は確認した設計図書】

(構造設計一級建築士又は設備設計一級建築士である旨の表示をした者)

上記の設計者のうち、

☐ 建築士法第20条の2第1項の表示をした者

【イ. 氏名】

【ロ. 資格】 構造設計一級建築士交付第 号

☐ 建築士法第20条の2第3項の表示をした者

【イ. 氏名】

【ロ. 資格】 構造設計一級建築士交付第 号

☐ 建築士法第20条の3第1項の表示をした者

【イ. 氏名】

【ロ. 資格】 設備設計一級建築士交付第 号

【イ. 氏名】

【ロ. 資格】 設備設計一級建築士交付第 号

【イ. 氏名】

【ロ. 資格】 設備設計一級建築士交付第 号

☐ 建築士法第20条の3第3項の表示をした者

【イ. 氏名】

【ロ. 資格】 設備設計一級建築士交付第 号

【イ. 氏名】

【ロ. 資格】 設備設計一級建築士交付第 号

【イ. 氏名】

【ロ. 資格】 設備設計一級建築士交付第 号

---

【4. 建築設備の設計に関し意見を聴いた者】

(代表となる建築設備の設計に関し意見を聴いた者)

【イ. 氏名】

【ロ. 勤務先】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 所在地】

【ホ. 電話番号】

【ヘ. 登録番号】

【ト. 意見を聴いた設計図書】

(その他の建築設備の設計に関し意見を聴いた者)

【イ. 氏名】

【ロ. 勤務先】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 所在地】

【ホ. 電話番号】

【ヘ. 登録番号】

【ト. 意見を聴いた設計図書】

【イ. 氏名】

【ロ. 勤務先】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 所在地】

【ホ. 電話番号】

【ヘ. 登録番号】

【ト. 意見を聴いた設計図書】

【イ. 氏名】

【ロ. 勤務先】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 所在地】

【ホ. 電話番号】

【ヘ. 登録番号】

【ト. 意見を聴いた設計図書】

---

【5. 工事監理者】

(代表となる工事監理者)

【イ. 資格】 (二級) 建築士 (神奈川県知事) 登録第 31978 号  
 【ロ. 氏名】 香川 浩一  
 【ハ. 建築士事務所名】 (二級) 建築士事務所 (神奈川県知事) 登録第 9894 号  
 株式会社ハウスコーポレーション  
 【ニ. 郵便番号】 221-0842  
 【ホ. 所在地】 横浜市神奈川区泉町17番地9  
 【ヘ. 電話番号】 045-324-1112  
 【ト. 工事と照合する設計図書】 設計図書一式

(その他の工事監理者)

【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
 【ロ. 氏名】  
 【ハ. 建築士事務所名】 ( ) 建築士事務所 ( ) 登録第 号

【ニ. 郵便番号】  
 【ホ. 所在地】  
 【ヘ. 電話番号】  
 【ト. 工事と照合する設計図書】

【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
 【ロ. 氏名】  
 【ハ. 建築士事務所名】 ( ) 建築士事務所 ( ) 登録第 号

【ニ. 郵便番号】  
 【ホ. 所在地】  
 【ヘ. 電話番号】  
 【ト. 工事と照合する設計図書】

【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
 【ロ. 氏名】  
 【ハ. 建築士事務所名】 ( ) 建築士事務所 ( ) 登録第 号

【ニ. 郵便番号】  
 【ホ. 所在地】  
 【ヘ. 電話番号】  
 【ト. 工事と照合する設計図書】

【6. 工事施工者】

【イ. 氏名】 未定  
 【ロ. 営業所名】 建設業の許可 ( ) 第 ( ) 号  
 未定  
 【ハ. 郵便番号】  
 【ニ. 所在地】  
 【ホ. 電話番号】

【7. 構造計算適合性判定の申請】

☐ 申請済 ( )  
☐ 未申請 ( )  
☒ 申請不要

【8. 建築物エネルギー消費性能確保計画の提出】

☐ 提出済み ( )  
☐ 未提出 ( )  
☒ 提出不要 ( )

【9. 備考】

プレシャスステージ富岡東新築工事

## (第三面)

## 建築物及びその敷地に関する事項

【1. 地名地番】 神奈川県横浜市金沢区 富岡東四丁目62番8			
【2. 住居表示】			
【3. 都市計画区域及び準都市計画区域の内外の別等】			
<input checked="" type="checkbox"/> 都市計画区域内 ( <input checked="" type="checkbox"/> 市街化区域 <input type="checkbox"/> 市街化調整区域 <input type="checkbox"/> 区域区分非設定 ) <input type="checkbox"/> 準都市計画区域内 <input type="checkbox"/> 都市計画区域及び準都市計画区域外			
【4. 防火地域】 <input type="checkbox"/> 防火地域 <input checked="" type="checkbox"/> 準防火地域 <input checked="" type="checkbox"/> 指定なし			
【5. その他の区域、地域、地区又は街区】 第4種高度地区、緑化地域、日影規制：4M/4H, 2.5H、宅地造成規制区域、景観計画 第1種高度地区、敷地面積最低限度：125㎡、建築物の高さの限度：10M、緑化地域、富岡・長浜風致地区・第3種（建蔽率（40%）、容積率（用途地域で規定）、建築物の高さ（10m）、外壁後退（道路2m、その他1m））日影規制：1.5M/3H, 2H、宅地造成規制区域、景観計画			
【6. 道路】			
【イ. 幅員】 4.000 m			
【ロ. 敷地と接している部分の長さ】 6.334 m			
【7. 敷地面積】			
【イ. 敷地面積】	(1) ( 82.68 ㎡ ) ( 4.47 ㎡ ) ( ㎡ ) ( ㎡ )		
	(2) ( ㎡ ) ( ㎡ ) ( ㎡ ) ( ㎡ )		
【ロ. 用途地域等】	(二種住居) (一低層) ( ) ( )		
【ハ. 建築基準法第52条第1項及び第2項の規定による建築物の容積率】			
	( 160.00 % ) ( 80.00 % ) ( % ) ( % )		
【ニ. 建築基準法第53条第1項の規定による建築物の建蔽率】			
	( 60.00 % ) ( 50.00 % ) ( % ) ( % )		
【ホ. 敷地面積の合計】	(1) 87.15 ㎡		
	(2) ㎡		
【ヘ. 敷地に建築可能な延べ面積を敷地面積で除した数値】	155.89 %		
【ト. 敷地に建築可能な建築面積を敷地面積で除した数値】	59.48 %		
【チ. 備考】 風致地区による建蔽率40%			
【8. 主要用途】 (区分 08010) 一戸建ての住宅			
【9. 工事種別】			
<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 用途変更 <input type="checkbox"/> 大規模の修繕 <input type="checkbox"/> 大規模の模様替			
【10. 建築面積】	(申請部分) (申請以外の部分) (合計)		
【イ. 建築面積】	( 41.09 ㎡ ) ( 0.00 ㎡ ) ( 41.09 ㎡ )		
【ロ. 建蔽率】	47.15 %		

【11. 延べ面積】	(申請部分	) (申請以外の部分	) (合計
【イ. 建築物全体】	( 78.86 m <sup>2</sup> )	( 0.00 m <sup>2</sup> )	( 78.86 m <sup>2</sup> )
【ロ. 地階の住宅又は老人ホーム等の部分】	( 0.00 m <sup>2</sup> )	( 0.00 m <sup>2</sup> )	( 0.00 m <sup>2</sup> )
【ハ. エレベータの昇降路の部分】	( 0.00 m <sup>2</sup> )	( 0.00 m <sup>2</sup> )	( 0.00 m <sup>2</sup> )
【ニ. 共同住宅又は老人ホーム等の共用の廊下等の部分】	( 0.00 m <sup>2</sup> )	( 0.00 m <sup>2</sup> )	( 0.00 m <sup>2</sup> )
【ホ. 自動車車庫等の部分】	( 0.00 m <sup>2</sup> )	( 0.00 m <sup>2</sup> )	( 0.00 m <sup>2</sup> )
【ヘ. 備蓄倉庫の部分】	( 0.00 m <sup>2</sup> )	( 0.00 m <sup>2</sup> )	( 0.00 m <sup>2</sup> )
【ト. 蓄電池の設置部分】	( 0.00 m <sup>2</sup> )	( 0.00 m <sup>2</sup> )	( 0.00 m <sup>2</sup> )
【チ. 自家発電設備の設置部分】	( 0.00 m <sup>2</sup> )	( 0.00 m <sup>2</sup> )	( 0.00 m <sup>2</sup> )
【リ. 貯水槽の設置部分】	( 0.00 m <sup>2</sup> )	( 0.00 m <sup>2</sup> )	( 0.00 m <sup>2</sup> )
【ヌ. 宅配ボックスの設置部分】	( 0.00 m <sup>2</sup> )	( 0.00 m <sup>2</sup> )	( 0.00 m <sup>2</sup> )
【ル. 住宅の部分】	( 78.86 m <sup>2</sup> )	( 0.00 m <sup>2</sup> )	( 78.86 m <sup>2</sup> )
【ヲ. 老人ホーム等の部分】	( 0.00 m <sup>2</sup> )	( 0.00 m <sup>2</sup> )	( 0.00 m <sup>2</sup> )
【ワ. 延べ面積】	78.86 m <sup>2</sup>		
【カ. 容積率】	90.49 %		

【12. 建築物の数】	
【イ. 申請に係る建築物の数】	1
【ロ. 同一敷地内の他の建築物の数】	0

【13. 建築物の高さ等】	(申請に係る建築物	) (他の建築物	)
【イ. 最高の高さ】	( 8.421 m )	( 0.000 m )	
【ロ. 階数】	地上 ( 2 )	( 0 )	
	地下 ( 0 )	( 0 )	
【ハ. 構造】	木 造 (軸組工法)	一部	造
【ニ. 建築基準法第56条第7項の規定による特例の適用の有無】	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
【ホ. 適用があるときは、特例の区分】	<input type="checkbox"/> 道路高さ制限不適用 <input type="checkbox"/> 隣地高さ制限不適用 <input type="checkbox"/> 北側高さ制限不適用		

【14. 許可・認定等】	
<del>横浜市狭あい道路の整備の促進に関する条例第9条</del> <del>0</del>	

【15. 工事着手予定年月日】	令和 3 年 4 月 5 日
【16. 工事完了予定年月日】	令和 3 年 8 月 20 日
【17. 特定工程工事終了予定日年月日】	(特定工程)
(第 1 回)	令和 3 年 5 月 10 日 (全軸組緊結完了時)
(第 回)	年 月 日 ( )
(第 回)	年 月 日 ( )

【18. その他必要な事項】	
----------------	--

【19. 備考】	
狭隘道路協議済	
許可番号：第R2金43号	
許可年月日：令和3年3月8日	



## 建築物別概要

【1. 番号】 1			
【2. 用途】	(区分 08010 )	一戸建ての住宅	
	(区分 )		
	(区分 )		
	(区分 )		
	(区分 )		
【3. 工事種別】			
<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 用途変更 <input type="checkbox"/> 大規模の修繕 <input type="checkbox"/> 大規模の模様替			
【4. 構造】	木(軸組工法)	造	一部 造
【5. 主要構造部】			
<input type="checkbox"/> 耐火構造			
<input type="checkbox"/> 建築基準法施行令第108条の3第1項第1号イ及びロに掲げる基準に適合する構造			
<input type="checkbox"/> 準耐火構造			
<input type="checkbox"/> 準耐火構造と同等の準耐火性能を有する構造(ロー1)			
<input type="checkbox"/> 準耐火構造と同等の準耐火性能を有する構造(ロー2)			
<input checked="" type="checkbox"/> その他			
【6. 建築基準法第21条及び第27条の規定の適用】			
<input type="checkbox"/> 建築基準法施行令第109条の5第1項に掲げる基準に適合する構造			
<input type="checkbox"/> 建築基準法第21条第1項ただし書に該当する建築物			
<input type="checkbox"/> 建築基準法施行令第110条第1号に掲げる基準に適合する構造			
<input type="checkbox"/> その他			
<input checked="" type="checkbox"/> 建築基準法第21条および第27条の規定の適用を受けない			
【7. 建築基準法第61条の規定の適用】			
<input type="checkbox"/> 耐火建築物			
<input type="checkbox"/> 延焼防止建築物			
<input type="checkbox"/> 準耐火建築物			
<input type="checkbox"/> 準延焼防止建築物			
<input checked="" type="checkbox"/> その他			
<input type="checkbox"/> 建築基準法第61条の規定の適用を受けない			
【8. 階数】			
【イ. 地階を除く階数】	2		
【ロ. 地階の階数】	0		
【ハ. 昇降機塔等の階の数】	0		
【ニ. 地階の倉庫等の階の数】	0		
【9. 高さ】			
【イ. 最高の高さ】	8.421 m		
【ロ. 最高の軒の高さ】	6.145 m		
【10. 建築設備の種類】			
給水設備、給湯設備、衛生設備、排水設備、ガス設備、空調設備、換気設備、電気設備、住宅用防災機器			

【11. 確認の特例】

- 【イ. 建築基準法第6条の3第1項ただし書又は法第18条第4項ただし書の規定による  
審査の特例の適用の有無】 ☐有 ☒無
- 【ロ. 建築基準法第6条の4第1項の規定による確認の特例の適用の有無】 ☒有 ☐無
- 【ハ. 建築基準法施行令第10条各号に掲げる建築物の区分】

第4号

【ニ. 認定型式の認定番号】

第

号

【ホ. 適合する一連の規定の区分】

☐建築基準法施行令第136条の2の11第1号イ

☐建築基準法施行令第136条の2の11第1号ロ

【ヘ. 認証型式部材等の認定番号】

第

号

【12. 床面積】	( 申請部分 )	( 申請以外の部分 )	( 合計 )
【イ. 階別】	( F1 階 )	( 40.26 m <sup>2</sup> )	( 0.00 m <sup>2</sup> )
	( F2 階 )	( 38.60 m <sup>2</sup> )	( 0.00 m <sup>2</sup> )
【ロ. 合計】	( 78.86 m <sup>2</sup> )	( 0.00 m <sup>2</sup> )	( 78.86 m <sup>2</sup> )

【13. 屋根】

(NM-2093) 平型屋根スレート葺き

【14. 外壁】

(PC030BE-9201) サイディング表張 (室内側：石膏ボード12.5mm(小屋裏含む))

【15. 軒裏】

(QF045RS-9122) ケイ酸カルシウム板

【16. 居室の床の高さ】

561 mm

【17. 便所の種類】

水洗

【18. その他必要な事項】

住宅用火災警報器

【19. 備考】

(第五面)

建築物の階別概要

【1. 番号】	1	
【2. 階】	F1	
【3. 柱の小径】	105 mm	
【4. 横架材間の垂直距離】	2729 mm	
【5. 階の高さ】	2834 mm	
【6. 天井】		
【イ. 居室の天井の高さ】	2400 mm	
【ロ. 建築基準法施行令第39条第3項に規定する特定天井】	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
【7. 用途別床面積】		
(用途の区分)	(具体的な用途の名称)	(床面積)
【イ.】 ( 08010 )	( 一戸建ての住宅 )	( 40.26 m <sup>2</sup> )
【ロ.】 ( )	( )	( m <sup>2</sup> )
【ハ.】 ( )	( )	( m <sup>2</sup> )
【ニ.】 ( )	( )	( m <sup>2</sup> )
【ホ.】 ( )	( )	( m <sup>2</sup> )
【ヘ.】 ( )	( )	( m <sup>2</sup> )
【8. その他必要な事項】		
【9. 備考】		

(第五面)

建築物の階別概要

【1. 番号】	1
【2. 階】	F2
【3. 柱の小径】	105 mm
【4. 横架材間の垂直距離】	2681 mm
【5. 階の高さ】	0 mm
【6. 天井】	
【イ. 居室の天井の高さ】	2400 mm
【ロ. 建築基準法施行令第39条第3項に規定する特定天井】	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
【7. 用途別床面積】	
(用途の区分)(具体的な用途の名称)	(床面積)
【イ.】(08010)(一戸建ての住宅)	(38.60 m <sup>2</sup> )
【ロ.】( )( )	( m <sup>2</sup> )
【ハ.】( )( )	( m <sup>2</sup> )
【ニ.】( )( )	( m <sup>2</sup> )
【ホ.】( )( )	( m <sup>2</sup> )
【ヘ.】( )( )	( m <sup>2</sup> )
【8. その他必要な事項】	
【9. 備考】	

(第六面)

建築物独立部分別概要

【1. 番号】 1

【2. 延べ面積】

【3. 建築物の高さ等】

【イ. 最高の高さ】

【ロ. 最高の軒の高さ】

【ハ. 階数】

地上 (     )     地下 (     )

【ニ. 構造】

造     一部     造

【4. 特定構造計算基準又は特定増改築構造計算基準の別】

☐ 特定構造計算基準

☐ 特定増改築構造計算基準

【5. 構造計算の区分】

☐ 建築基準法施行令第81条第1項各号に掲げる基準に従った構造計算

☐ 建築基準法施行令第81条第2項第1号イに掲げる構造計算

☐ 建築基準法施行令第81条第2項第1号ロに掲げる構造計算

☐ 建築基準法施行令第81条第2項第2号イに掲げる構造計算

☐ 建築基準法施行令第81条第3項に掲げる構造計算

【6. 構造計算に用いたプログラム】

【イ. 名称】

【ロ. 区分】

☐ 建築基準法第20条第1項第2号イ又は第3号イの認定を受けたプログラム

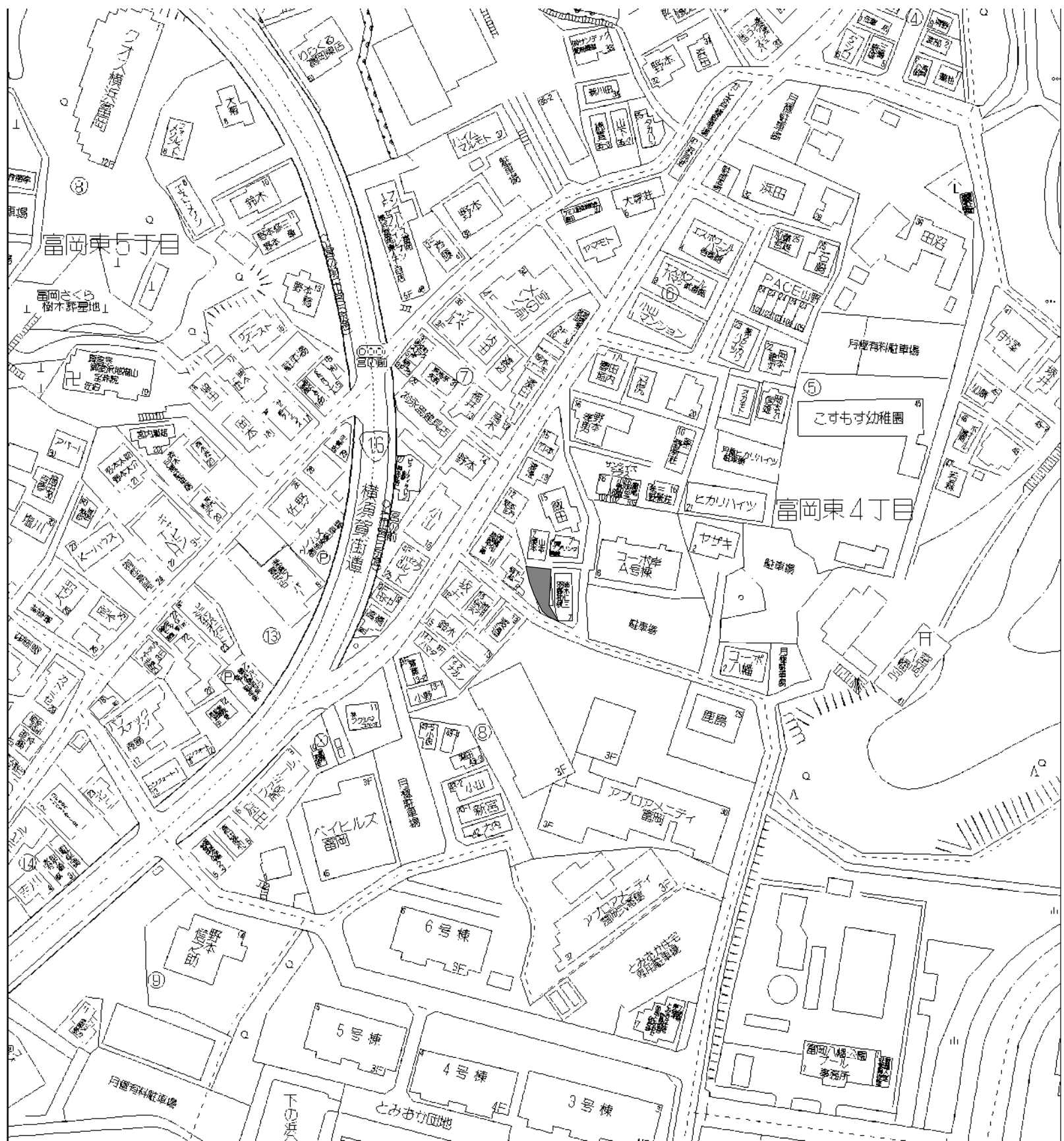
(大臣認定番号     )

☐ その他のプログラム

【7. 建築基準法施行令第137条の2各号に定める基準の区分】

(     )

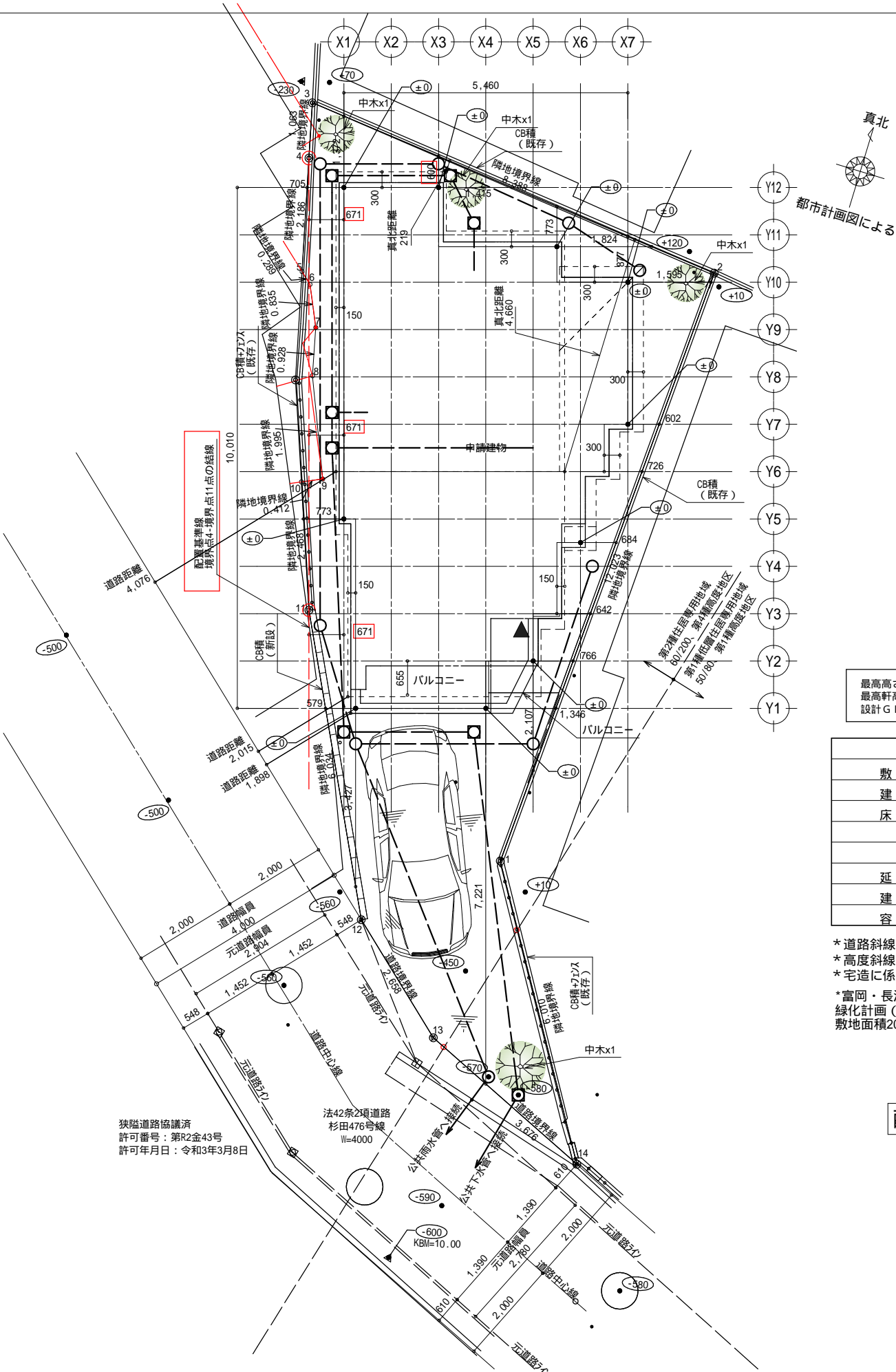
【8. 備考】



建築地：横浜市金沢区富岡東四丁目62番8

凡例	
	汚水樹（分流）
	雨水樹
	設計GLとの高低差 設計GL=10.60【KBM+600】
<div><div>・ガス事業法第162条に適合している</div><div>・2F延焼ラインは全ての範囲</div><div>・水道法第16条及び下水道法第10条第1項に適合している</div><div>・CB積みについて令62条の8に適合の構造</div></div>	

敷地面積（直角座標法）				
番号	X座標(m)	Y座標(m)	X(n+1)-X(n-1)	倍面積(m <sup>2</sup> )
1	-4.110	-11.298	2.639	-29.815422
2	0.000	0.000	-3.613	0.000000
3	-7.723	3.274	-7.788	-25.497912
4	-7.788	2.212	-0.198	-0.437976
5	-7.921	0.029	0.019	0.000551
6	-7.769	-0.216	0.265	-0.057240
7	-7.656	-1.044	0.049	-0.051156
8	-7.720	-1.971	0.133	-0.262143
9	-7.523	-3.956	-0.213	0.842628
10	-7.933	-4.012	-0.265	1.063180
11	-7.788	-6.477	1.150	-7.448550
12	-6.783	-12.426	2.391	-29.710566
13	-5.397	-14.695	4.144	-60.896080
14	-2.639	-17.126	1.287	-22.041162
基準	13.488	21.104	倍面積計	-174.311848
敷地面積(m <sup>2</sup> )			87.15	
(坪)			26.36	



最高高さ：8.421  
最高軒高：6.145  
設計GL：平均GL

トータル面積表			m <sup>2</sup> (坪)
敷地面積	87.15	(26.36)	
建築面積	41.09	(12.42)	
床面積 1階	40.26	(12.17)	
2階	38.60	(11.67)	
小屋裏	13.66	(4.13)	
延床面積	78.86	(23.84)	
建蔽率	(41.09/87.15) × 100	47.15%	
容積率	(78.86/87.15) × 100	90.49%	

\*道路斜線支障無し  
\*高度斜線支障無し  
\*宅造に係わる切土・盛土無し  
\*富岡・長浜風致地区（第3種風致地区）  
緑化計画（中木2M以上）  
敷地面積200m未満 4本（樹種：白欒）

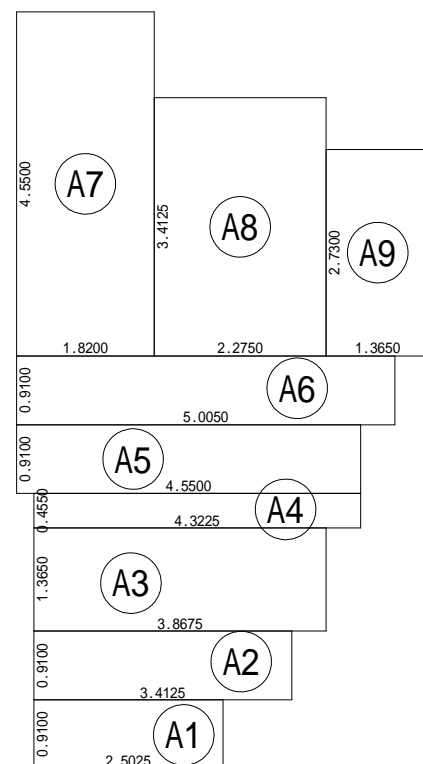
配置図 S:1/100

狭路道路協議済  
許可番号：第R2金43号  
許可年月日：令和3年3月8日

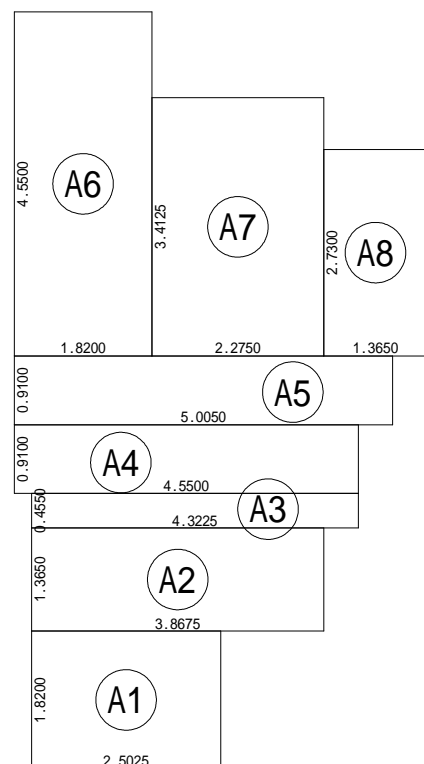
法42条2項道路  
杉田476号線  
W=4000



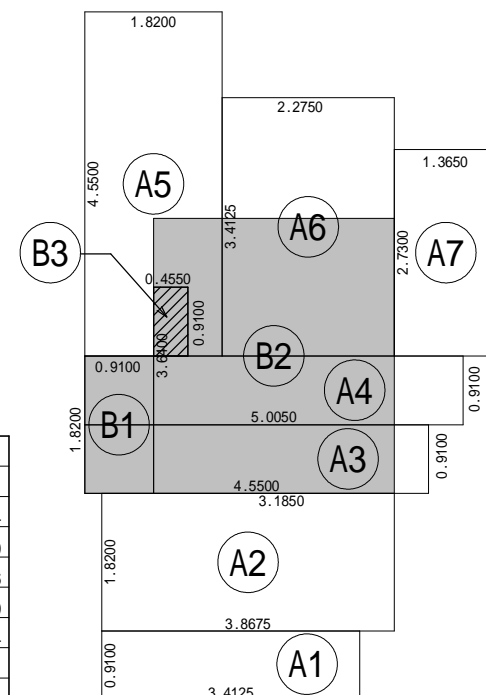




建築面積表			
	形 狀	計 算 式	面 積
(A1)	矩形	$2.5025 \times 0.9100$	2.277
(A2)	矩形	$3.4125 \times 0.9100$	3.105
(A3)	矩形	$3.8675 \times 1.3650$	5.279
(A4)	矩形	$4.3225 \times 0.4550$	1.966
(A5)	矩形	$4.5500 \times 0.9100$	4.140
(A6)	矩形	$5.0050 \times 0.9100$	4.554
(A7)	矩形	$1.8200 \times 4.5500$	8.281
(A8)	矩形	$2.2750 \times 3.4125$	7.763
(A9)	矩形	$1.3650 \times 2.7300$	3.726
面 積		計 (m <sup>2</sup> )	41.09



	形 状	計 算 式	面 積
(A1)	矩形	$2.5025 \times 1.8200$	4.554
(A2)	矩形	$3.8675 \times 1.3650$	5.279
(A3)	矩形	$4.3225 \times 0.4550$	1.966
(A4)	矩形	$4.5500 \times 0.9100$	4.140
(A5)	矩形	$5.0050 \times 0.9100$	4.554
(A6)	矩形	$1.8200 \times 4.5500$	8.281
(A7)	矩形	$2.2750 \times 3.4125$	7.763
(A8)	矩形	$1.3650 \times 2.7300$	3.726
	面 積	計 (㎡)	40.26



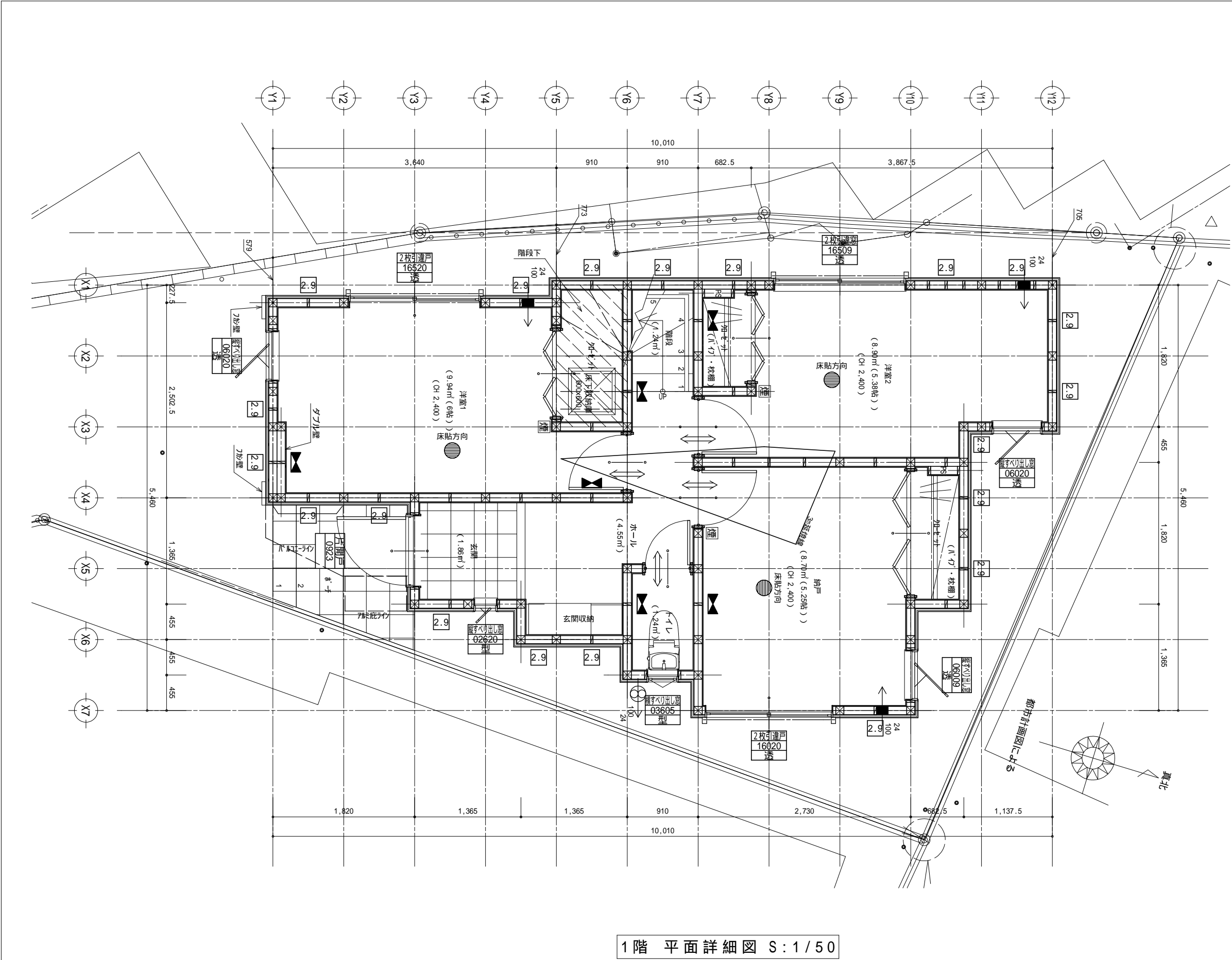
床面積表<2階>		
	形 状	面 積
(A1)	矩形 $3.4125 \times 0.9100$	3.105
(A2)	矩形 $3.8675 \times 1.8200$	7.038
(A3)	矩形 $4.5500 \times 0.9100$	4.140
(A4)	矩形 $5.0050 \times 0.9100$	4.554
(A5)	矩形 $1.8200 \times 4.5500$	8.281
(A6)	矩形 $2.2750 \times 3.4125$	7.763
(A7)	矩形 $1.3650 \times 2.7300$	3.726
(B1)	小屋裏 $0.9100 \times 1.8200$	(1.656)
(B2)	小屋裏 $3.1850 \times 3.6400$	(11.593)
(B3)	小屋裏 $0.4550 \times 0.9100$	(0.414)
面 積 計 (㎡)		38.60

小屋裏検討					
2階床面積	38.60	/	2	=	19.30 m <sup>2</sup>
小屋裏面積					13.66 m <sup>2</sup>
	19.30	>	13.66	・・・	OK






建築面積求積図 S:1/100

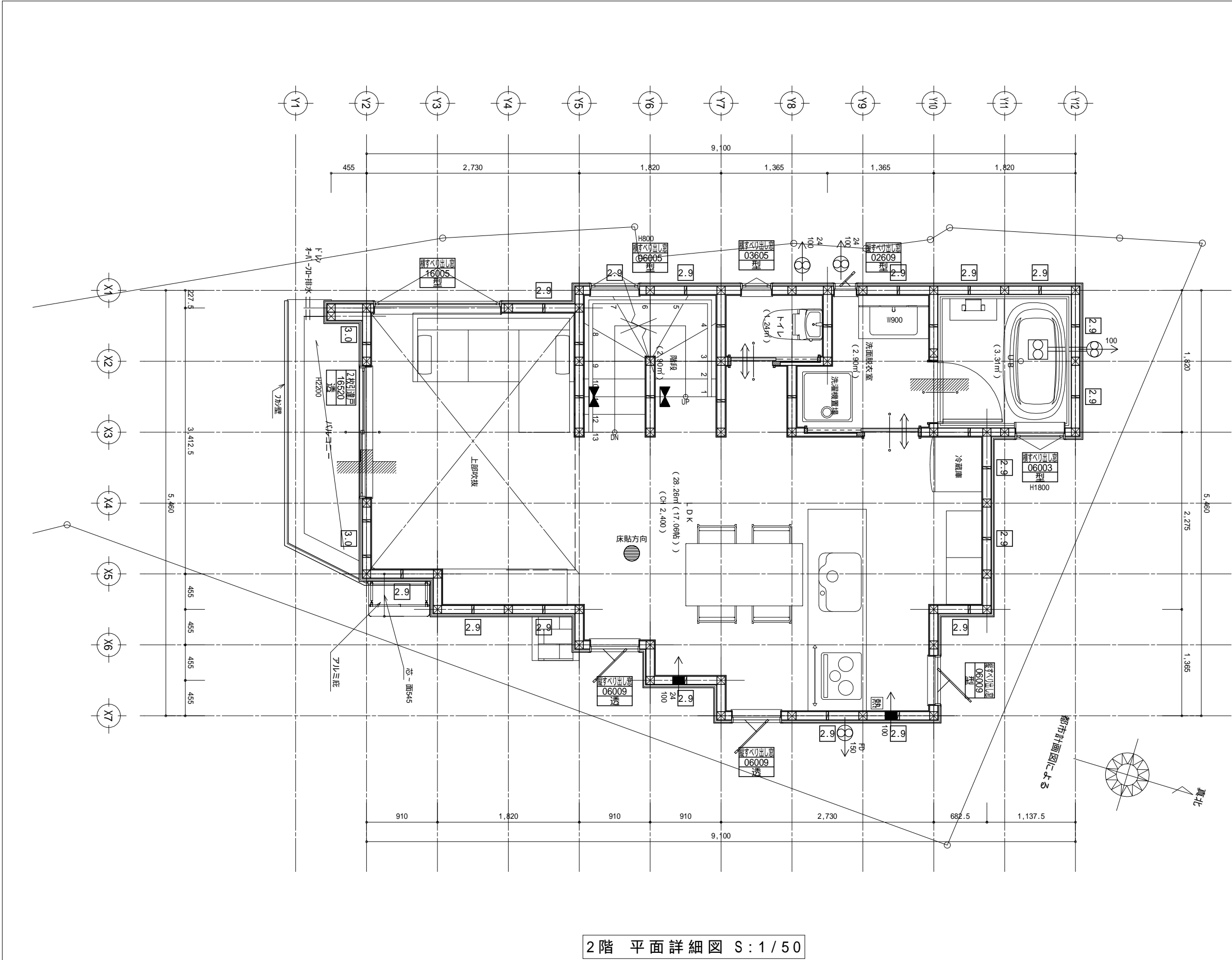
1階 床面積求積図 S:1/100

2階 床面積求積図 S:1/100



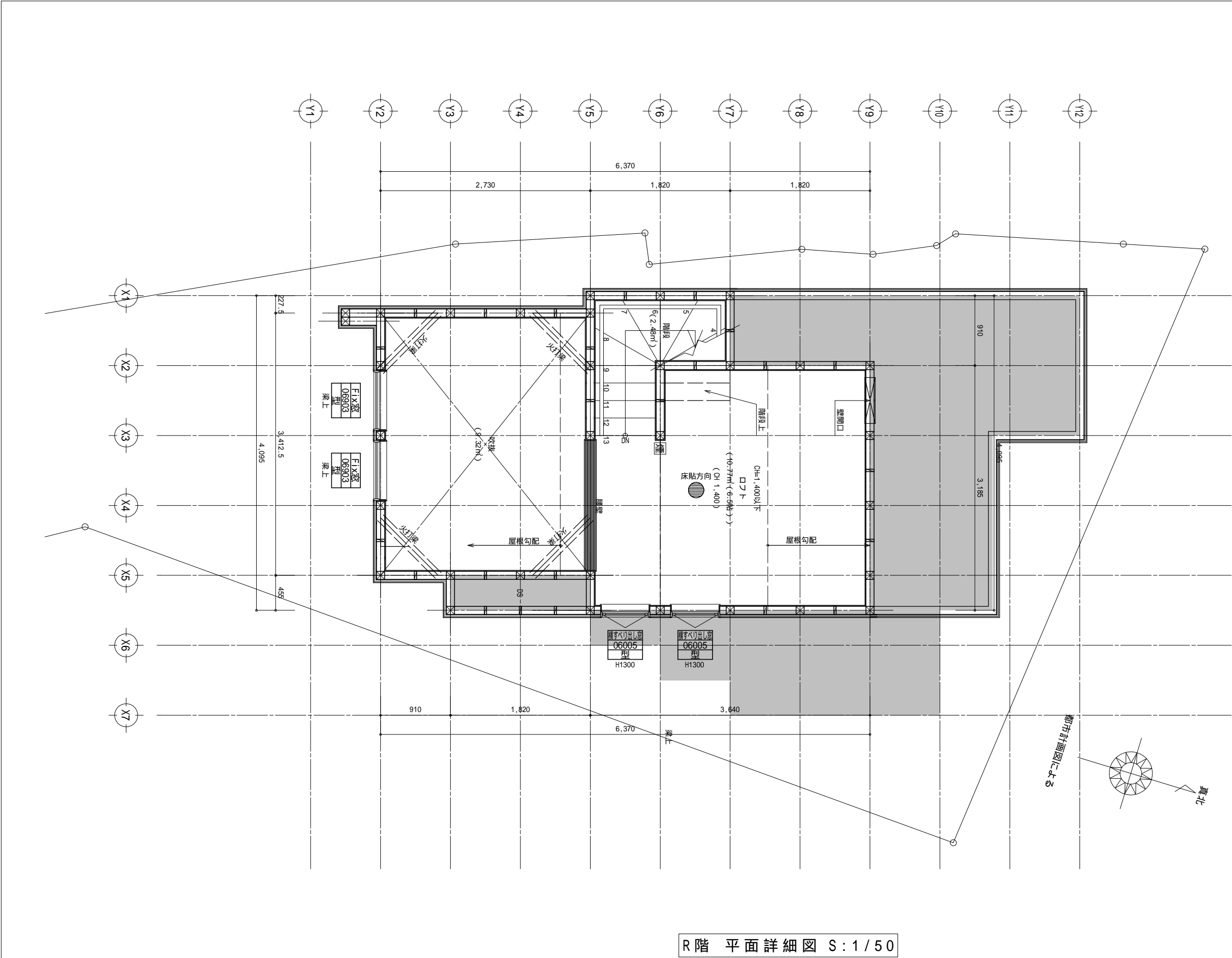
1階 平面詳細図 S:1/50

凡例					
シックハウス	 給気口 (24時間) : (防火SVC)				
	 換気扇 (24時間) : (防火SVC)				
	 アンダーカット				
	法28条の2による使用建材は規制対象外、もしくはF、もしくはF (小屋裏等)とする。 クロルピリホスの使用なし。 換気は第3種機械換気とし、スイッチには常時運転の表示を行う。				
設備	 給気口 (局所換気) (防火FD付)				
	 換気扇 (防火150 FD付 100 SVC)				
火気使用室	LDK・階段・ロフト 法35条の2、令129条の6 天井: PB12.5mm張り (タガ-ボード / 吉野石膏) 不燃: NM-8619 耐火張り 準不燃: QM-9399 壁: PB12.5mm張り (タガ-ボード / 吉野石膏) 不燃: NM-8619 耐火張り 準不燃: QM-9399  100mm以内の構造はタガ-ボード 貼付り仕上とする 100mmからh80cm以上 h100cm未満は (レジ-ボード) 不燃材仕上とする 下地: PB12.5mm 不燃: NM-8619 タガ-ボード 3mm (AICA) 不燃: NM-2183				
その他	<table><tr><td>建具種別</td><td rowspan="3">* 全ての開口部は 法2条9号の2口の防火設備 防火設備とする</td></tr><tr><td>呼称サイズ</td></tr><tr><td>ガラス種</td></tr></table> *特記なきサッシュ高はH=2000とする。 *緩すべり窓は45度以上開閉	建具種別	* 全ての開口部は 法2条9号の2口の防火設備 防火設備とする	呼称サイズ	ガラス種
	建具種別	* 全ての開口部は 法2条9号の2口の防火設備 防火設備とする			
	呼称サイズ				
	ガラス種				
<table><tr><td>熱 煙</td><td>住宅用火災警報器 壁付</td></tr><tr><td>熱 煙</td><td>住宅用火災警報器 天井付</td></tr></table>	熱 煙	住宅用火災警報器 壁付	熱 煙	住宅用火災警報器 天井付	
熱 煙	住宅用火災警報器 壁付				
熱 煙	住宅用火災警報器 天井付				
設置は総務省令第138号設置維持省令第7号に準ずる					
特記事項	a. 下記内容の技術基準に適合させること ・水道法16条 (給水装置の構造・材質) ・下水道法10条1項 (排水設備の構造) ・ガス事業法162条 b. 階段の寸法は以下の通りとする ・蹴上: 230mm以下、踏面: 150mm以上 ・幅員: 750mm以上、手摺の出: 100mm以内  *構造検討により天井下がり発生の可能性あり *給湯器の施工はH12建告1388号による  *台所換気扇 パナソニック 外配管ダクト用 (7)50巻き V=30KQ=30x0.93x9.3=259m³/n 使用7-ド 777 590m³/n・・・OK				



2階 平面詳細図 S:1/50

凡例							
シックハウス	<div><div><div></div></div><div>24</div></div> →	給気口(24時間):(防火SVC)					
	<div><div><div></div></div><div>24</div></div> →	換気扇(24時間):(防火SVC)					
	↔	アンダーカット					
	法28条の2による使用建材は規制対象外、もしくはF、もしくはF(小屋裏等)とする。 クロルピリホスの使用なし。 換気は第3種機械換気とし、 スイッチには常時運転の表示を行う。						
設備	<div><div><div></div></div><div></div></div> →	給気口(局所換気) (防火FD付)					
	<div><div><div></div></div><div></div></div> →	換気扇 (防火150 FD付 100 SVC)					
火気使用室	LDK・階段・ロフト 法35条の2、令129条の6 天井:PB12.5mm張り(タガ-ボード/吉野石膏) 不燃:NM-8619 巾12張り 準不燃:QM-9399 壁:PB12.5mm張り(タガ-ボード/吉野石膏) 不燃:NM-8619 巾12張り 準不燃:QM-9399 巾12mm以内の構造はタガ-ボード 貼付り仕上とする 巾12mmからh80cm以上 h100cm未満は(レジ-ボード)不燃材仕上とする 下地:PB12.5mm 不燃:NM-8619 タガ-ボード 貼付り(AICA) 不燃:NM-2183						
その他	<table><tr><td>建具種別</td><td rowspan="3">*全ての開口部は 法2条9号の2口の防火設備 防火設備とする  *特記なきサッシ高はH=2000とする。 縦すべり窓は45度以上開閉</td></tr><tr><td>呼称サイズ</td></tr><tr><td>ガラス種</td></tr></table>	建具種別	*全ての開口部は 法2条9号の2口の防火設備 防火設備とする  *特記なきサッシ高はH=2000とする。 縦すべり窓は45度以上開閉	呼称サイズ	ガラス種		
	建具種別	*全ての開口部は 法2条9号の2口の防火設備 防火設備とする  *特記なきサッシ高はH=2000とする。 縦すべり窓は45度以上開閉					
	呼称サイズ						
	ガラス種						
<table><tr><td>熱</td><td>煙</td><td>住宅用火災警報器 壁付</td></tr><tr><td>熱</td><td>煙</td><td>住宅用火災警報器 天井付</td></tr></table>	熱	煙	住宅用火災警報器 壁付	熱	煙	住宅用火災警報器 天井付	
熱	煙	住宅用火災警報器 壁付					
熱	煙	住宅用火災警報器 天井付					
設置は総務省令第138号設置維持省令第7号に準ずる							
特記事項	a.下記内容の技術基準に適合させること ・水道法16条(給水装置の構造・材質) ・下水道法10条1項(排水設備の構造) ・ガス事業法162条 b.階段の寸法は以下の通りとする ・蹴上:230mm以下、踏面:150mm以上 ・幅員:750mm以上、手摺の出:100mm以内  *構造検討により天井下がり発生の可能性あり *給湯器の施工はH12建告1388号による  *台所換気扇 パナソニック 外配管径φ75(7)50巻き V=30KQ=30x0.93x9.3=259m³/n 使用7-ド 777 590m³/n・・・OK						



R階 平面詳細図 S:1/50

凡例

シックハウス

24

給気口(24時間):(防火SVC)

24

換気扇(24時間):(防火SVC)

アンダーカット

法28条の2による使用建材は規制対象外、もしくはF、もしくはF(小屋裏等)とする。  
クロルポリホスの使用なし。  
換気は第3種機械換気とし、  
スイッチには常時運転の表示を行う。

設備

給気口(局所換気)  
(防火FD付)

換気扇  
(防火150 FD付 100 SVC)

火気使用室

LDK・階段・2階ホール  
法35条の2、令129条の6  
天井:PB12.5mm張り(タカ-ボード/吉野石膏)  
不燃:NM-8619  
加圧張り 準不燃:QM-9399  
壁:PB12.5mm張り(タカ-ボード/吉野石膏)  
不燃:NM-8619  
加圧張り 準不燃:QM-9399  
天井廻り15cm以内の構造はタカ-ボード 貼付仕上とする  
天井からh90cm以上h100cm未満は(インダ-ド)不燃材仕上とする  
下地:PB12.5mm 不燃:NM-8619  
タカ-ボード 縁3mm(AICA) 不燃:NM-2183

建具種別

呼称サイズ

ガラス種

\*全ての開口部は  
法2条9号の2口の防火設備  
防火設備とする

\*特記なきサッシュ高はH=2000とする。  
縦すり窓は45度以上開閉

熱

煙

住宅用火災警報器  
壁付

熱

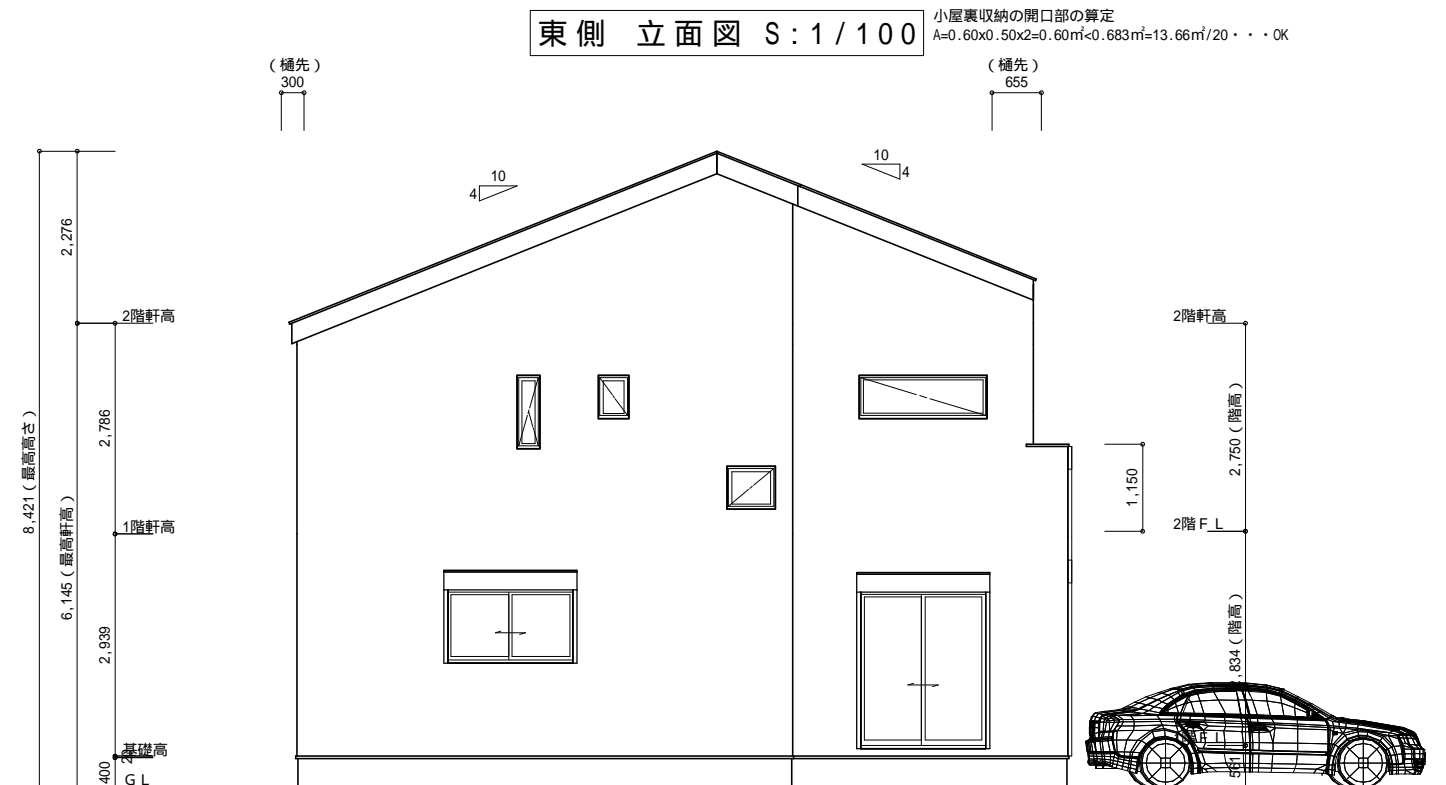
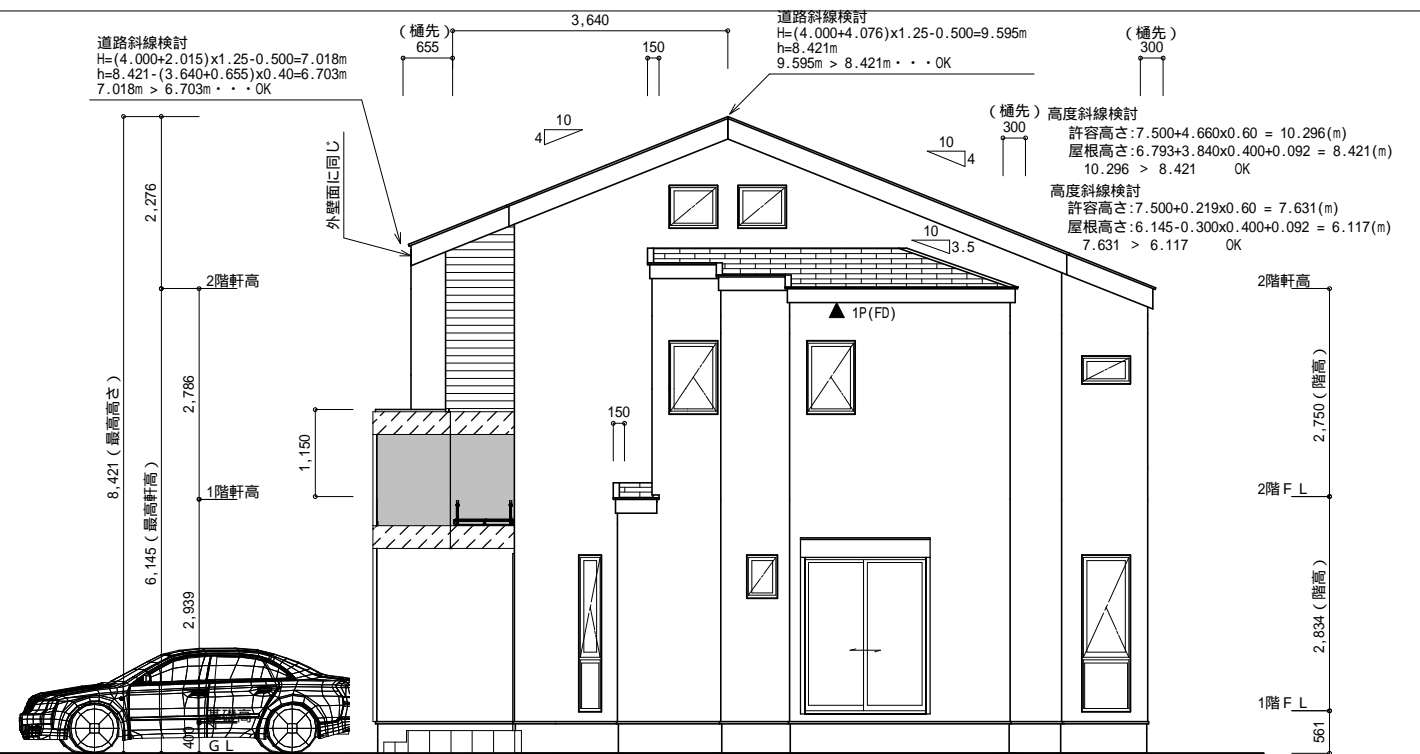
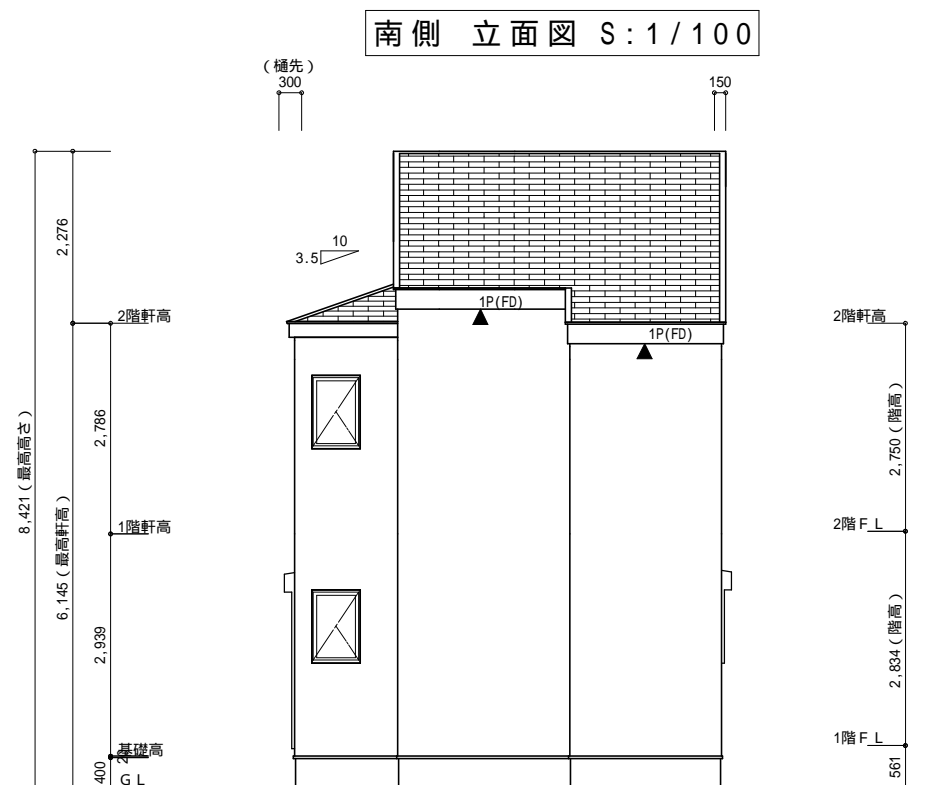
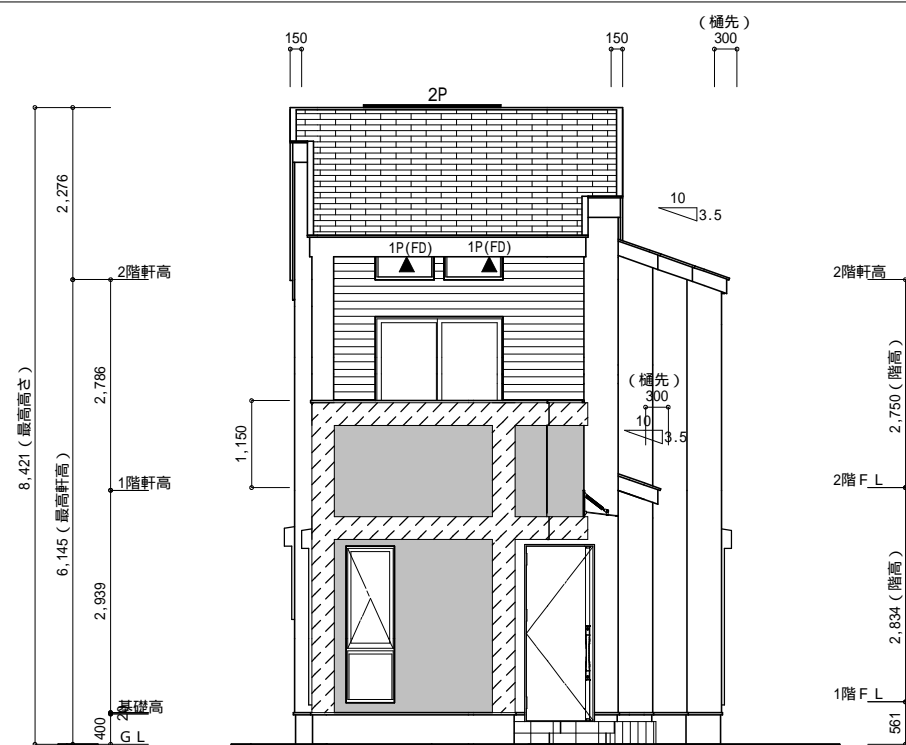
煙

住宅用火災警報器  
天井付

設置は総務省令第138号設置維持省令第7号に準ずる

特記事項

a.下記内容の技術基準に適合させること  
・水道法16条(給水装置の構造・材質)  
・下水道法10条1項(排水設備の構造)  
・ガス事業法162条  
b.階段の寸法は以下の通りとする  
・蹴上:230mm以下、踏面:150mm以上  
・幅員:750mm以上、手摺の出:100mm以内  
  
\*構造検討により天井下がり発生の可能性あり  
\*給湯器の施工はH12建告1388号による  
  
\*台所換気扇  
スバ-イラダ-外配管ダクト(7)50巻き  
V=30KQ=30x0.93x9.3=259m³/n  
使用フード777 590m³/n・・・OK






小屋裏換気算定													
部位		必要換気面積					有効換気面積			判定	備考		
2F	小屋裏吸気	38.54	/	900	=	0.0428	0.0161	x	4	=	0.0644	OK	カネシンSS90FD同等品
	棟換気	38.54	/	1600	=	0.0241	0.0396	x	1	=	0.0396	OK	スピカBS6尺同等品

構造上主要な部分である柱、筋交い、及び土台のうち、地面から1mの部分には防腐・防蟻処置を施す。

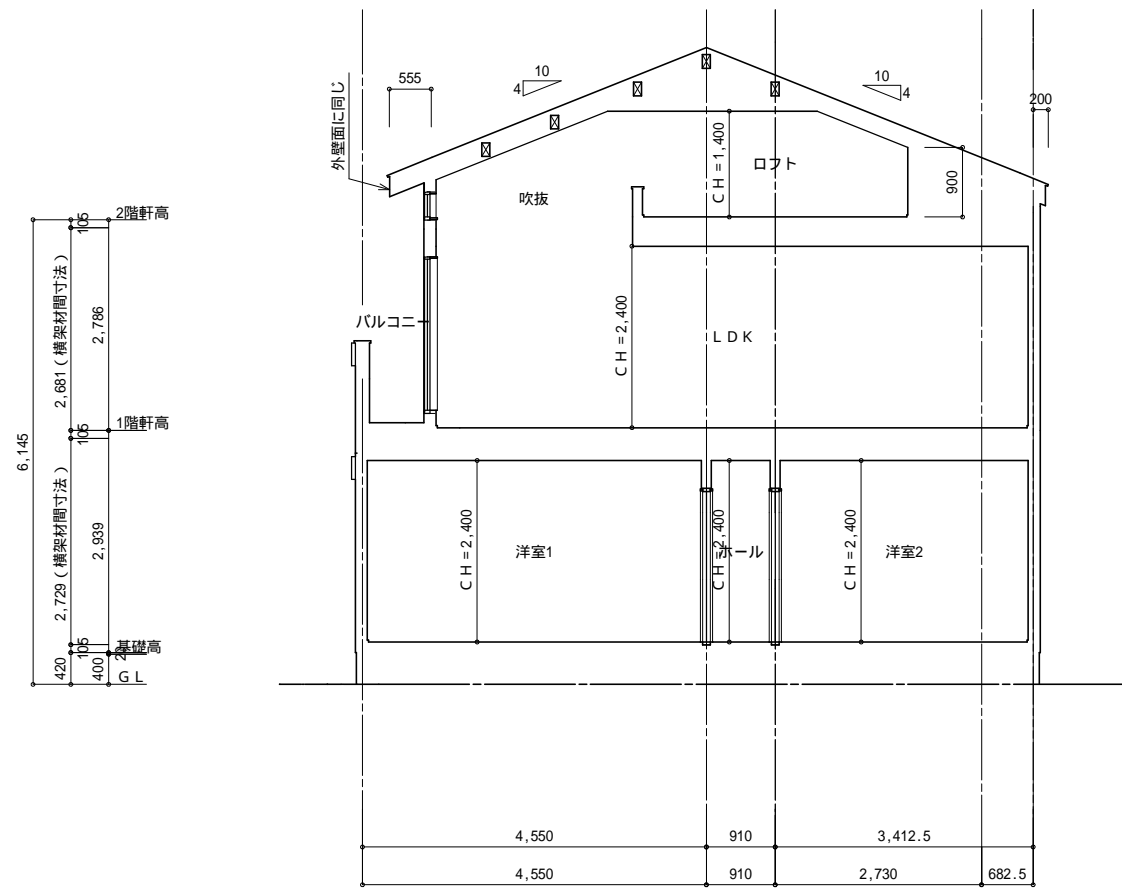
屋内側防火被覆は、小屋裏・屋根裏まで達するようにする

床下換気は基礎パッキンにて行う（外周部の土台1m当たり有効面積75 c m2以上）

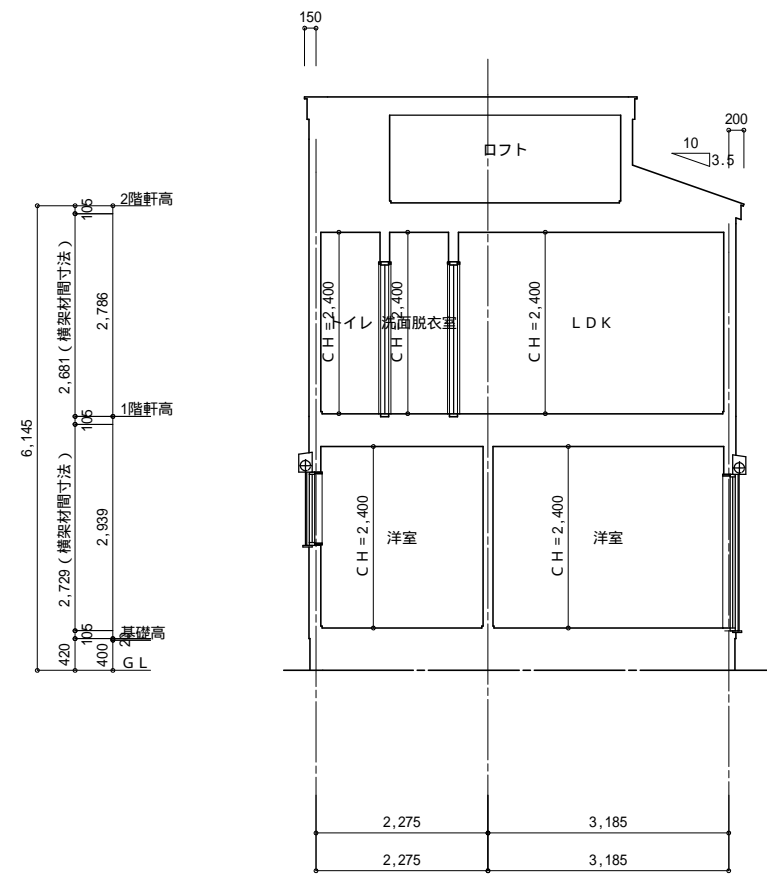
外部仕上表				
屋根			コロニアル葺き	
開口部			アルミサッシ	
外壁	ベース		サイディング 貼	
	フカ壁 (50mm)		サイディング 貼	
	アクセントA		サイディング 貼	
	アクセントB		サイディング 貼	

部位	名称・仕様		認定番号
屋根	平形屋根スレート -		NM-2093
外壁	外部 窯業系サイディング表張	内部 石膏ボード12.5(小屋裏含む)	PC030BE-9201
バルコニー	繊維混入ケイ酸カルシウム板 5+構造用合板t=15		QF045RS-9029
サッシュ	アルミ合金製窓		EB-9111 ~ EB-9119
軒天	ケイ酸カルシウム板		QF045RS-9122

[illegible]



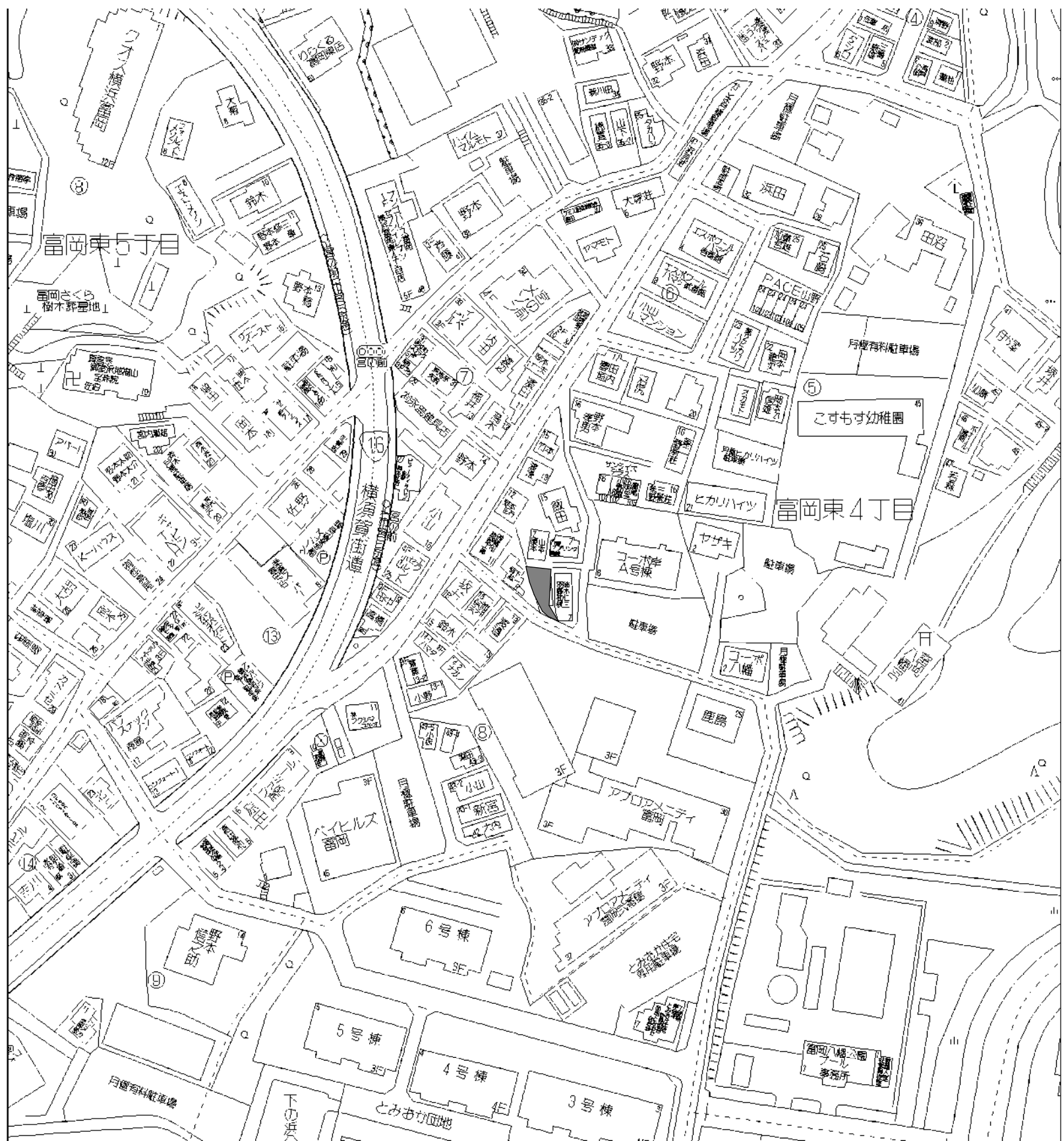
1面 断面図 S:1/100



2面 断面図 S:1/100



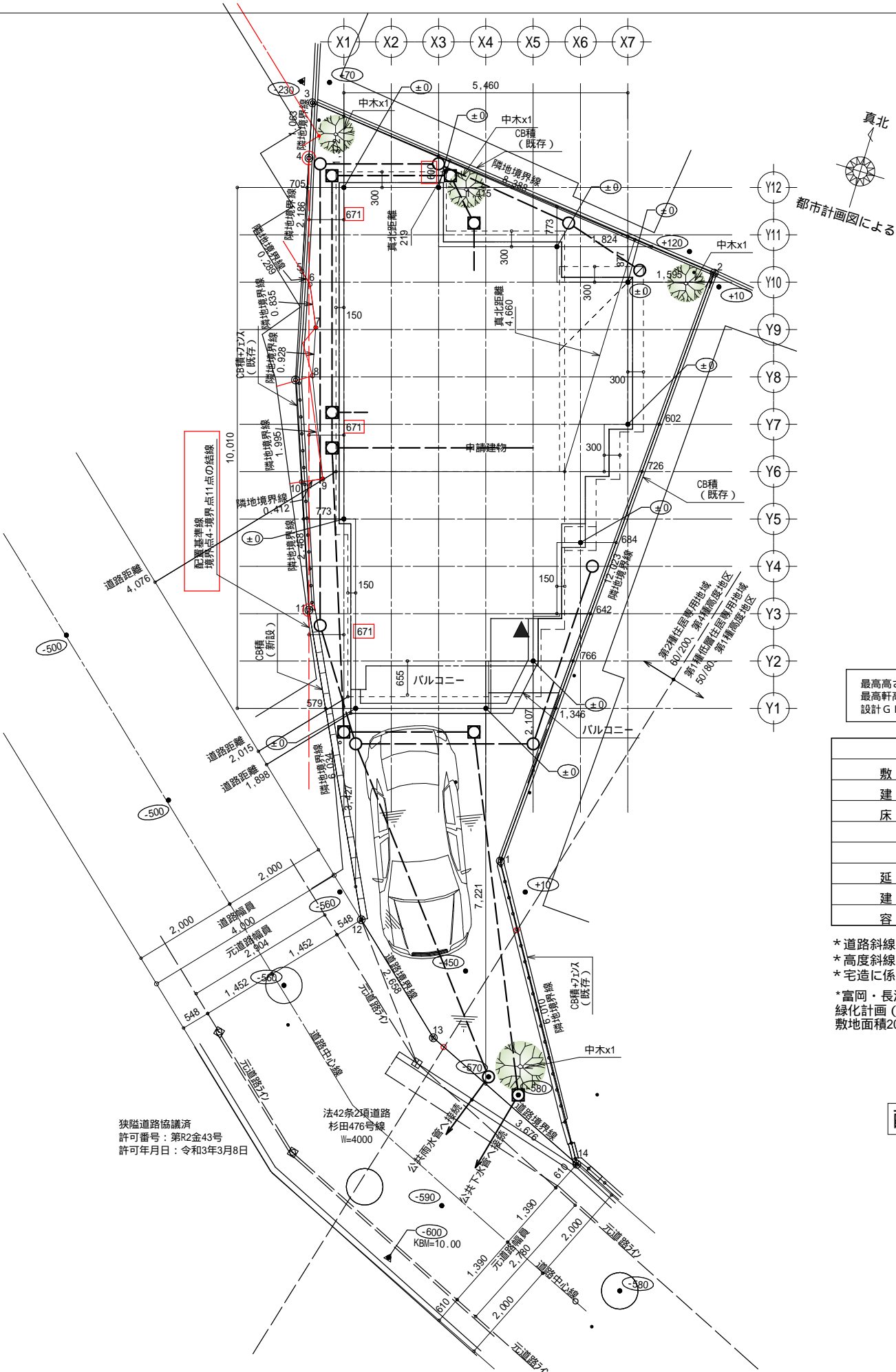




建築地：横浜市金沢区富岡東四丁目62番8

凡例	
	汚水樹（分流）
	雨水樹
	設計GLとの高低差 設計GL=10.60【KBM+600】
<div><ul style="list-style-type: none"><li>・ガス事業法第162条に適合している</li><li>・2F延焼タイプは全ての範囲</li><li>・水道法第16条及び下水道法第10条第1項に適合している</li><li>・CB積みについて令62条の8に適合の構造</li></ul></div>	

敷地面積（直角座標法）				
番号	X座標(m)	Y座標(m)	X(n+1)-X(n-1)	倍面積(m <sup>2</sup> )
1	-4.110	-11.298	2.639	-29.815422
2	0.000	0.000	-3.613	0.000000
3	-7.723	3.274	-7.788	-25.497912
4	-7.788	2.212	-0.198	-0.437976
5	-7.921	0.029	0.019	0.000551
6	-7.769	-0.216	0.265	-0.057240
7	-7.656	-1.044	0.049	-0.051156
8	-7.720	-1.971	0.133	-0.262143
9	-7.523	-3.956	-0.213	0.842628
10	-7.933	-4.012	-0.265	1.063180
11	-7.788	-6.477	1.150	-7.448550
12	-6.783	-12.426	2.391	-29.710566
13	-5.397	-14.695	4.144	-60.896080
14	-2.639	-17.126	1.287	-22.041162
基準	13.488	21.104	倍面積計	-174.311848
敷地面積(m <sup>2</sup> )			87.15	
(坪)			26.36	



最高高さ：8.421  
最高軒高：6.145  
設計GL：平均GL

トータル面積表			m <sup>2</sup> (坪)
敷地面積	87.15	(26.36)	
建築面積	41.09	(12.42)	
床面積 1階	40.26	(12.17)	
2階	38.60	(11.67)	
小屋裏	13.66	(4.13)	
延床面積	78.86	(23.84)	
建蔽率	(41.09/87.15) × 100	47.15%	
容積率	(78.86/87.15) × 100	90.49%	

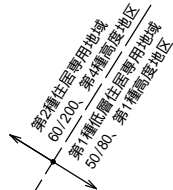
\*道路斜線支障無し  
\*高度斜線支障無し  
\*宅造に係わる切土・盛土無し  
\*富岡・長浜風致地区（第3種風致地区）  
緑化計画（中木2M以上）  
敷地面積200m未満 4本（樹種：白樺）

配置図 S:1/100

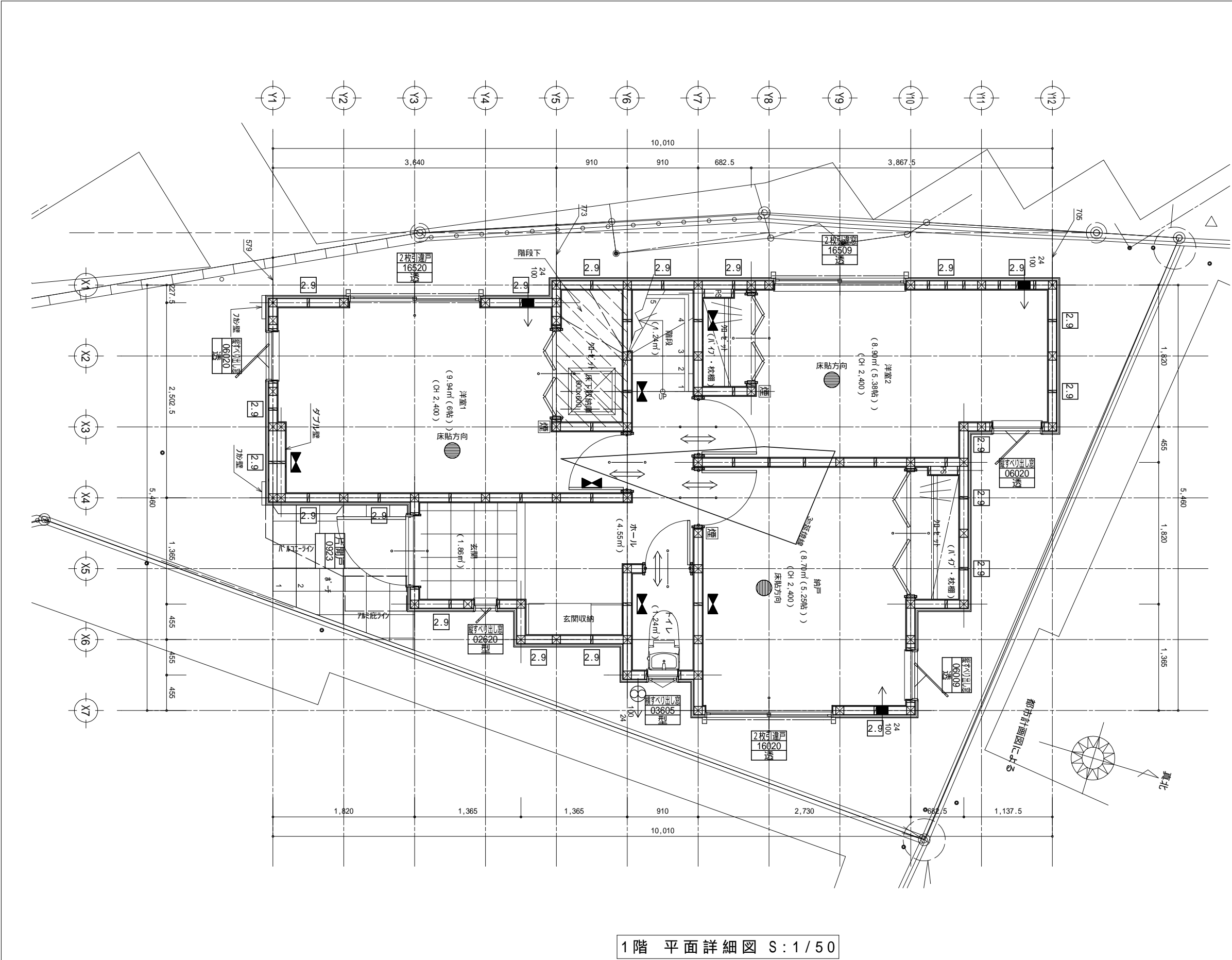
狭路道路協議済  
許可番号：第R2金43号  
許可年月日：令和3年3月8日

法42条2項道路  
杉田476号線  
W=4000





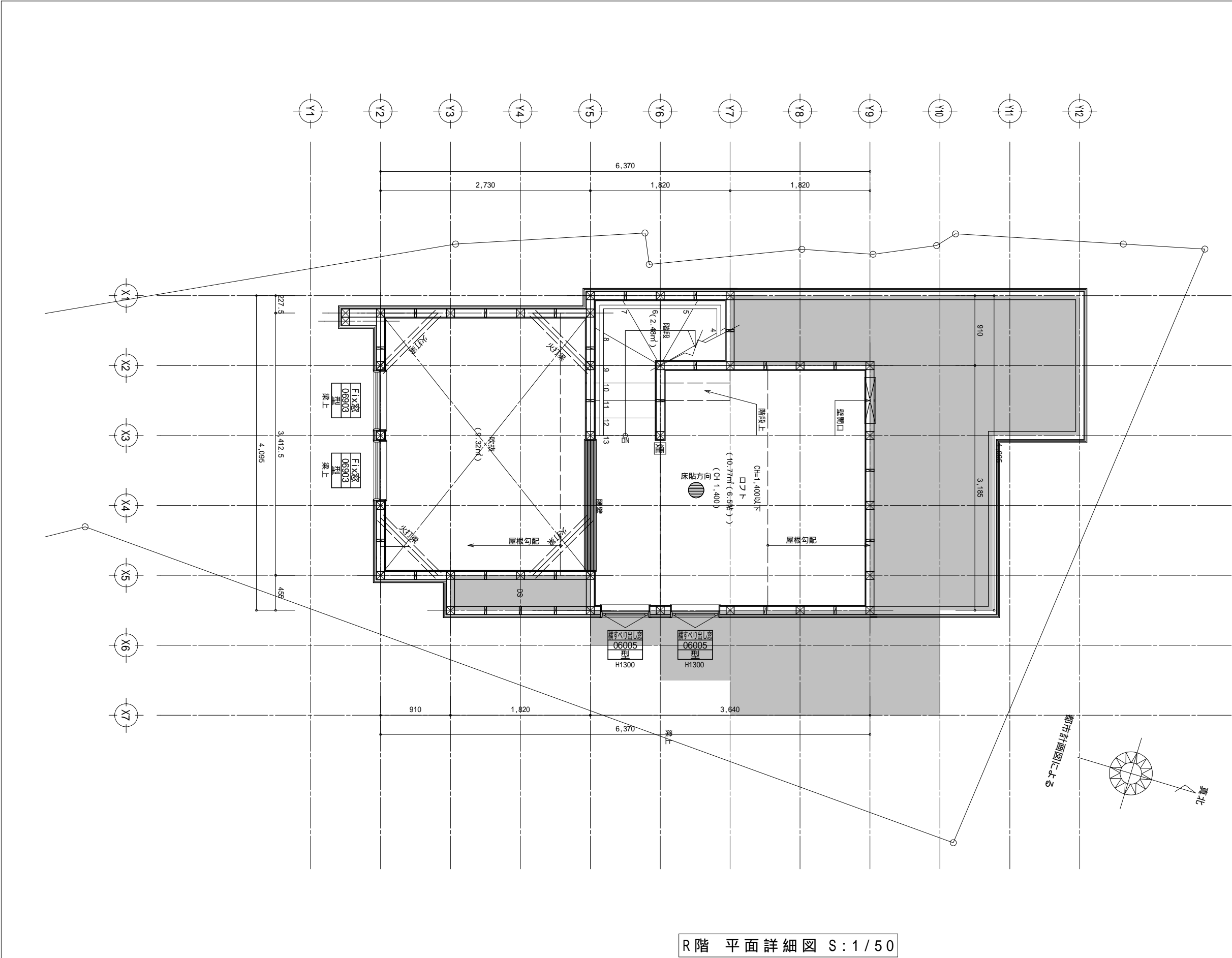




1階 平面詳細図 S:1/50

凡例						
シックハウス	 24	給気口(24時間):(防火SVC)				
	 24	換気扇(24時間):(防火SVC)				
	 	アンダーカット				
	法28条の2による使用建材は規制対象外、もしくはF、もしくはF(小屋裏等)とする。 クロルピリホスの使用なし。 換気は第3種機械換気とし、 スイッチには常時運転の表示を行う。					
設備	 	給気口(局所換気) (防火FD付)				
	 	換気扇 (防火150 FD付 100 SVC)				
火気使用室	LDK・階段・ロフト 法35条の2、令129条の6 天井:PB12.5mm張り(タガ-ボード/吉野石膏) 不燃:NM-8619 耐火張り 準不燃:QM-9399 壁:PB12.5mm張り(タガ-ボード/吉野石膏) 不燃:NM-8619 耐火張り 準不燃:QM-9399 100mm以内の構造はタガ-ボード 貼付り仕上とする 100mm以内h80cm以上h100cm未満は(レジ-ボード)不燃材仕上とする 下地:PB12.5mm 不燃:NM-8619 タガ-ボード 貼付り(AICA) 不燃:NM-2183					
その他	<table><tr><td>建具種別</td><td rowspan="3">*全ての開口部は 法2条9号の2口の防火設備 防火設備とする  *特記なきサッシュ高はH=2000とする。 *緩すべり窓は45度以上開閉</td></tr><tr><td>呼称サイズ</td></tr><tr><td>ガラス種</td></tr></table>	建具種別	*全ての開口部は 法2条9号の2口の防火設備 防火設備とする  *特記なきサッシュ高はH=2000とする。 *緩すべり窓は45度以上開閉	呼称サイズ	ガラス種	
	建具種別	*全ての開口部は 法2条9号の2口の防火設備 防火設備とする  *特記なきサッシュ高はH=2000とする。 *緩すべり窓は45度以上開閉				
	呼称サイズ					
	ガラス種					
<table><tr><td>熱 煙</td><td>住宅用火災警報器 壁付</td></tr><tr><td>熱 煙</td><td>住宅用火災警報器 天井付</td></tr></table>	熱 煙	住宅用火災警報器 壁付	熱 煙	住宅用火災警報器 天井付		
熱 煙	住宅用火災警報器 壁付					
熱 煙	住宅用火災警報器 天井付					
設置は総務省令第138号設置維持省令第7号に準ずる						
特記事項	a.下記内容の技術基準に適合させること ・水道法16条(給水装置の構造・材質) ・下水道法10条1項(排水設備の構造) ・ガス事業法162条 b.階段の寸法は以下の通りとする ・蹴上:230mm以下、踏面:150mm以上 ・幅員:750mm以上、手摺の出:100mm以内  *構造検討により天井下がり発生の可能性あり *給湯器の施工はH12建告1388号による  *台所換気扇 パナソニック 外配管ダクト用(7)50巻き V=30KQ=30x0.93x9.3=259m³/n 使用7-ド 777 590m³/n・・・OK					





凡例

シックハウス

24

給気口(24時間):(防火SVC)

24

換気扇(24時間):(防火SVC)

アンダーカット

法28条の2による使用建材は規制対象外、もしくはF、もしくはF(小屋裏等)とする。  
クロルポリホスの使用なし。  
換気は第3種機械換気とし、  
スイッチには常時運転の表示を行う。

設備

給気口(局所換気)  
(防火FD付)

換気扇  
(防火150 FD付 100 SVC)

火気使用室

LDK・階段・2階ホール  
法35条の2、令129条の6  
天井:PB12.5mm張り(タガ-ボード/吉野石膏)  
不燃:NM-8619  
加圧張り 準不燃:QM-9399  
壁:PB12.5mm張り(タガ-ボード/吉野石膏)  
不燃:NM-8619  
加圧張り 準不燃:QM-9399  
天井廻り15cm以内の構造はタガ-ボード 貼付仕上とする  
天井からh90cm以上h100cm未満は(インダ-ド)不燃材仕上とする  
下地:PB12.5mm 不燃:NM-8619  
タガ-ボード 縁3mm(AICA) 不燃:NM-2183

建具種別

呼称サイズ

ガラス種

\*全ての開口部は  
法2条9号の2口の防火設備  
防火設備とする  
  
\*特記なきサッシュ高はH=2000とする。  
\*緩すべり窓は45度以上開閉

熱

煙

住宅用火災警報器  
壁付

熱

煙

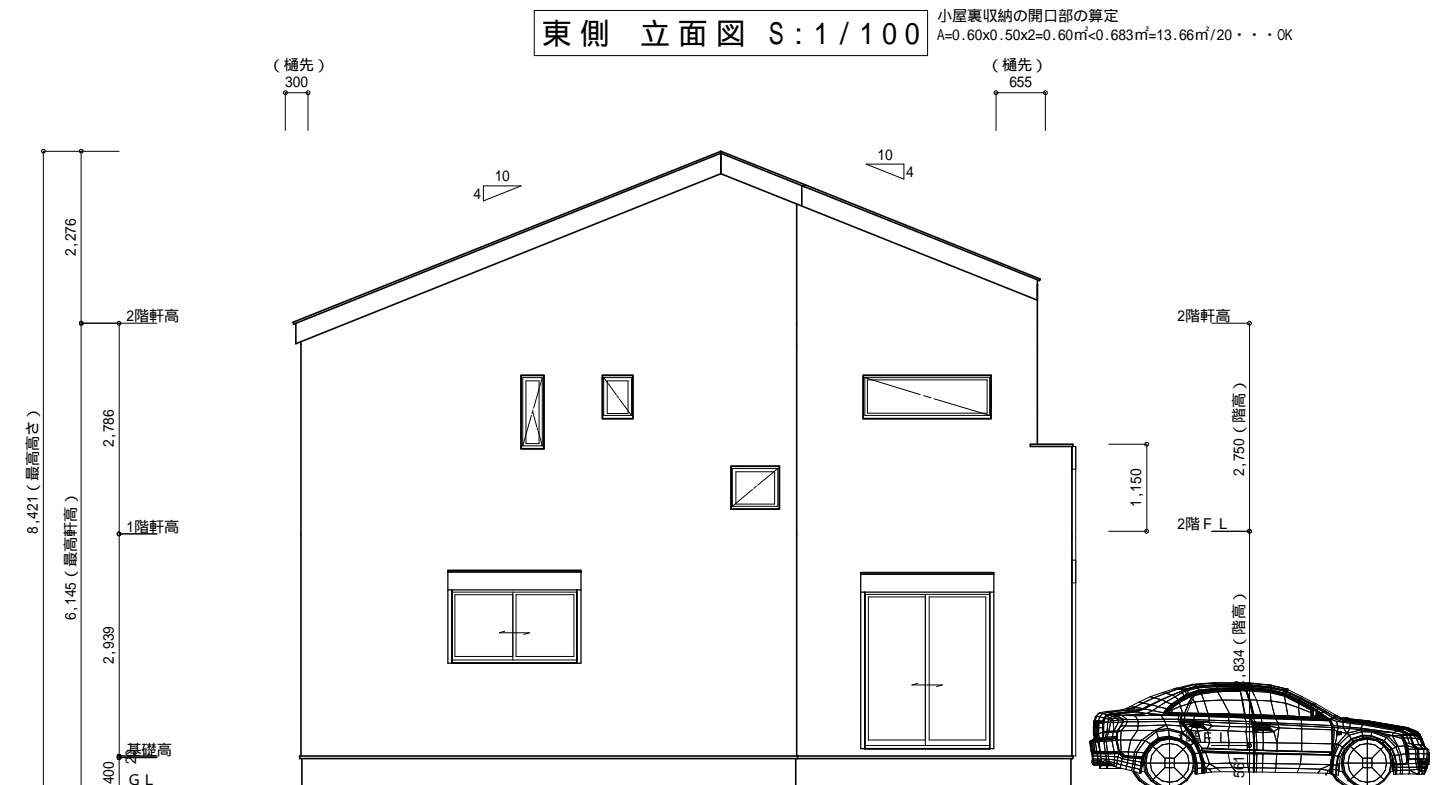
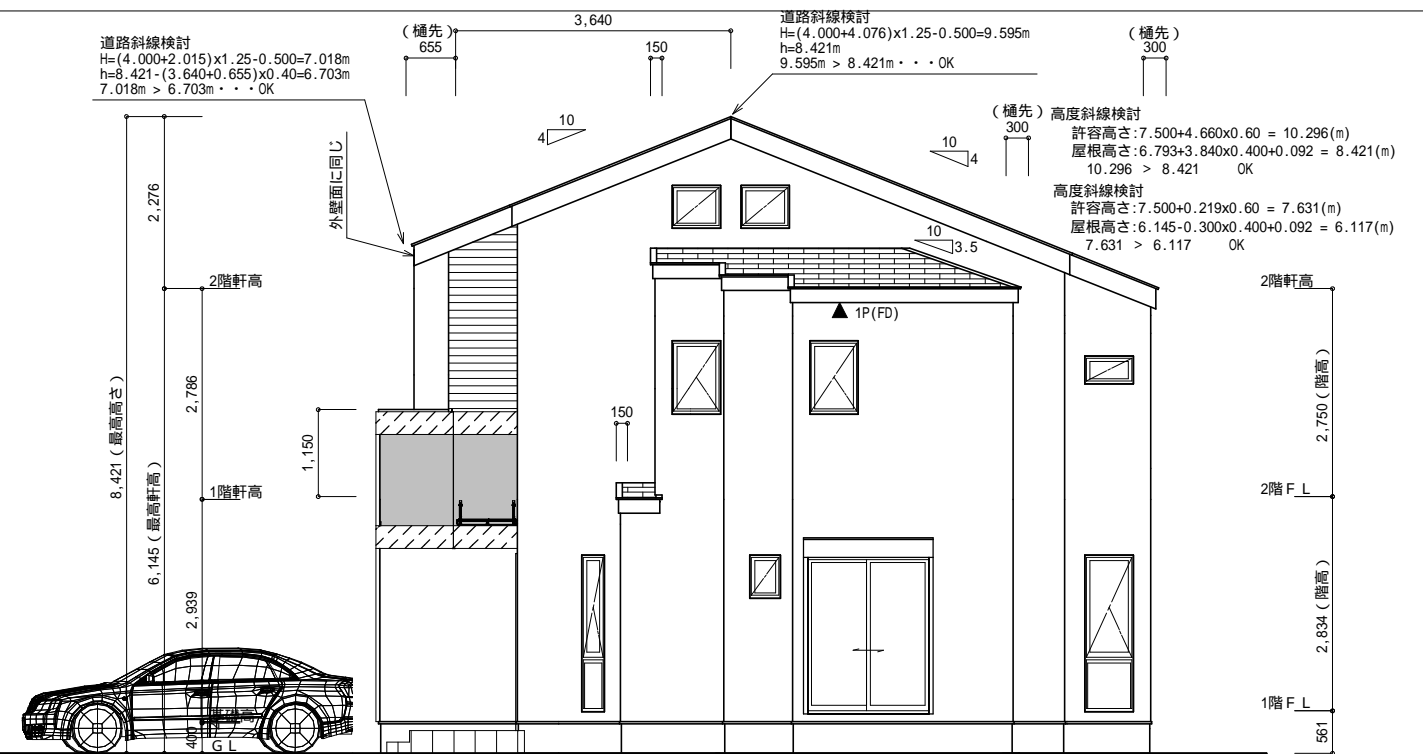
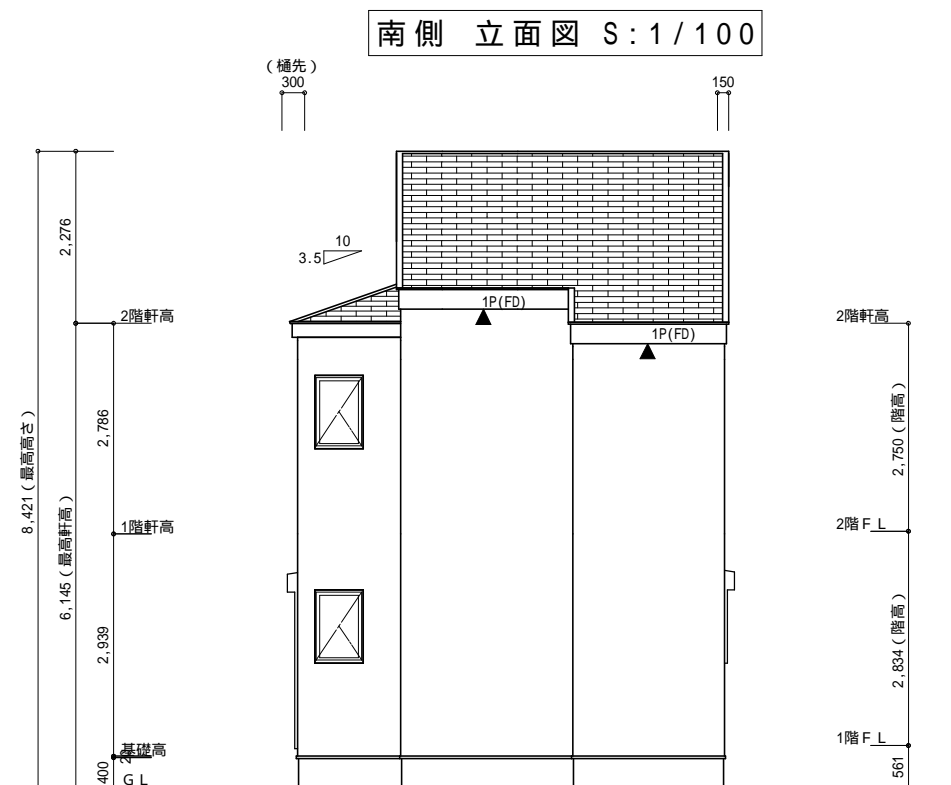
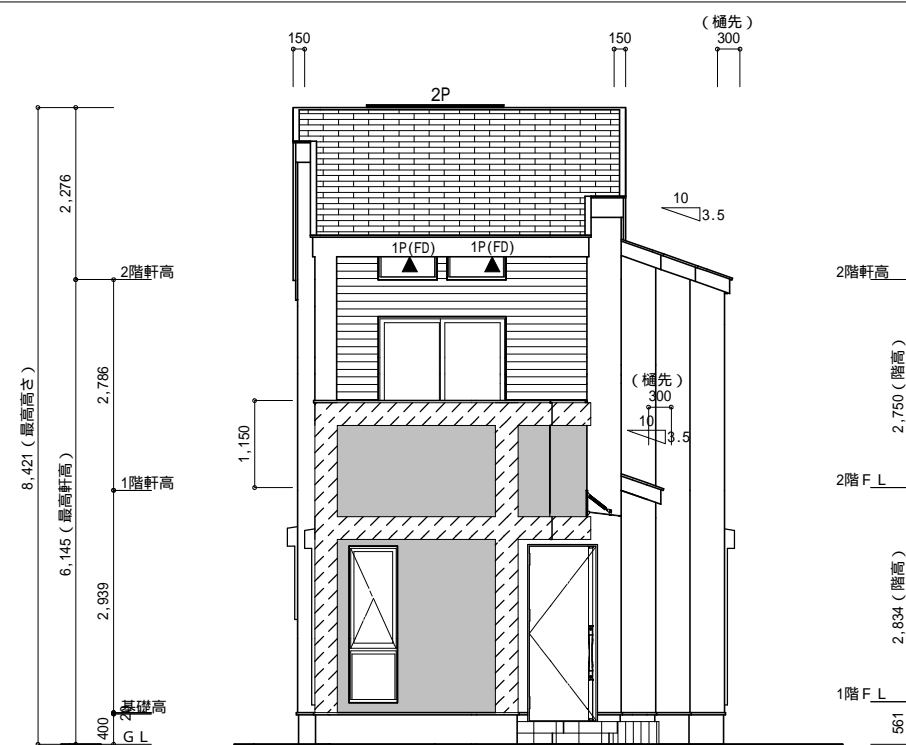
住宅用火災警報器  
天井付

設置は総務省令第138号設置維持省令第7号に準ずる

特記事項

a.下記内容の技術基準に適合させること  
・水道法16条(給水装置の構造・材質)  
・下水道法10条1項(排水設備の構造)  
・ガス事業法162条  
b.階段の寸法は以下の通りとする  
・蹴上:230mm以下、踏面:150mm以上  
・幅員:750mm以上、手摺の出:100mm以内  
  
\*構造検討により天井下がり発生の可能性あり  
\*給湯器の施工はH12建告1388号による  
  
\*台所換気扇  
スバ-イラダクト配管D150(7)50巻き  
V=30KQ=30x0.93x9.3=259m³/n  
使用7ド777 590m³/n・・・OK








小屋裏換気算定													
部位		必要換気面積					有効換気面積			判定	備考		
2F	小屋裏吸気	38.54	/	900	=	0.0428	0.0161	x	4	=	0.0644	OK	カネシンSS90FD同等品
	棟換気	38.54	/	1600	=	0.0241	0.0396	x	1	=	0.0396	OK	スピカBS6尺同等品

構造上主要な部分である柱、筋交い、及び土台のうち、地面から1mの部分には防腐・防蟻処置を施す。

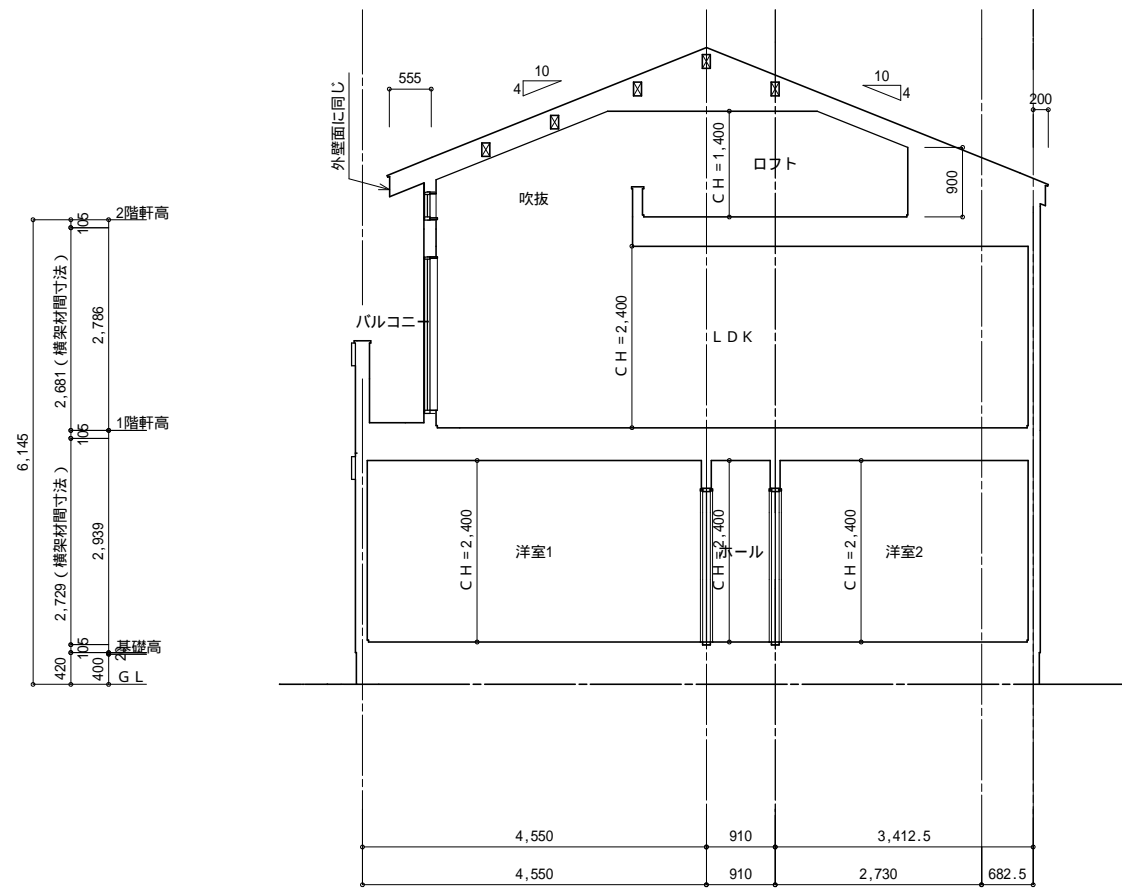
屋内側防火被覆は、小屋裏・屋根裏まで達するようにする

床下換気は基礎パッキンにて行う（外周部の土台1m当たり有効面積75cm<sup>2</sup>以上）

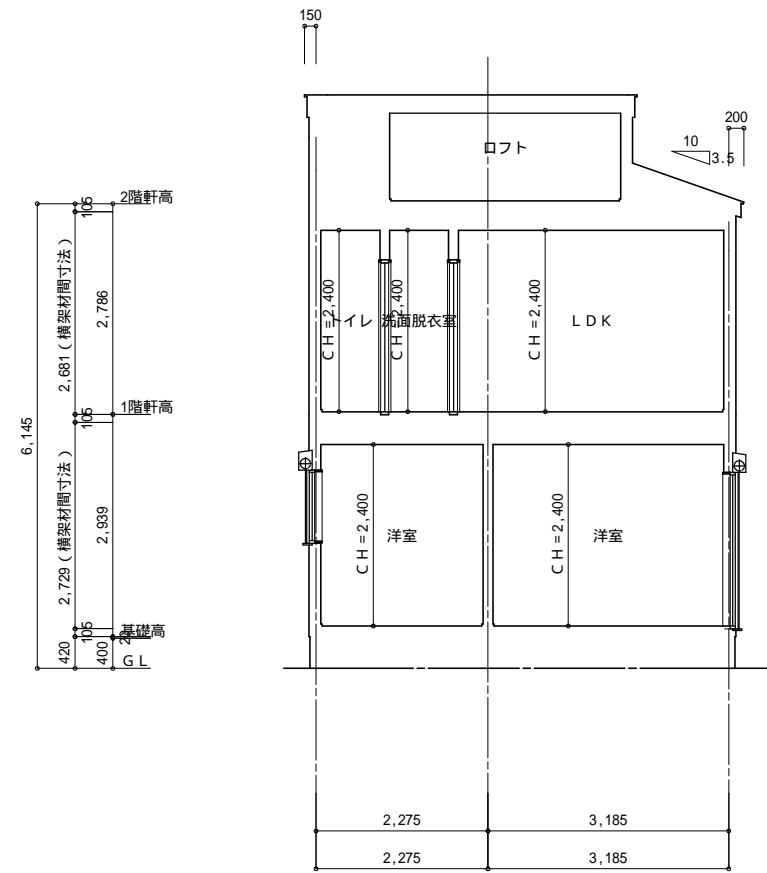
外部仕上表				
屋根			コロニアル葺き	
開口部			アルミサッシ	
外壁	ベース		サイディング 貼	
	フカ壁 (50mm)		サイディング 貼	
	アクセントA		サイディング 貼	
	アクセントB		サイディング 貼	

部位	名称・仕様		認定番号
屋根	平形屋根スレート -		NM-2093
外壁	外部 窯業系サイディング表張	内部 石膏ボード12.5(小屋裏含む)	PC030BE-9201
バルコニー	繊維混入ケイ酸カルシウム板 5+構造用合板t=15		QF045RS-9029
サッシュ	アルミ合金製窓		EB-9111 ~ EB-9119
軒天	ケイ酸カルシウム板		QF045RS-9122

[illegible]

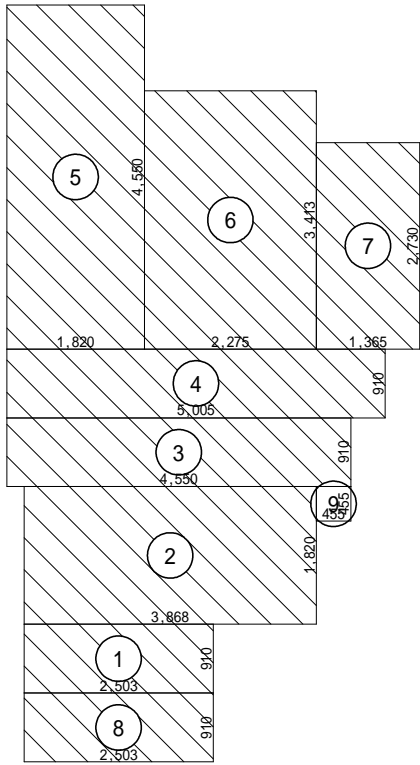


1面 断面図 S:1/100

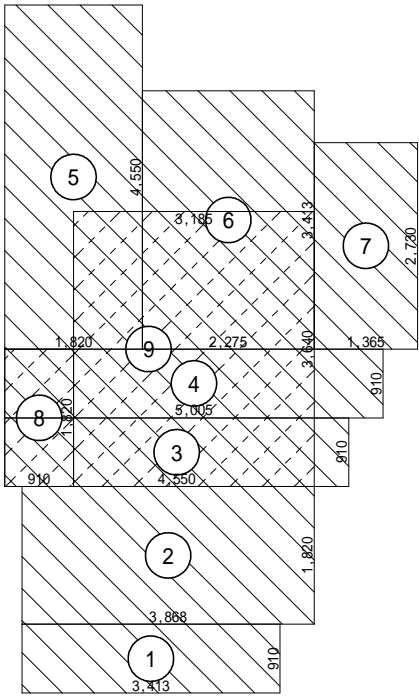


2面 断面図 S:1/100





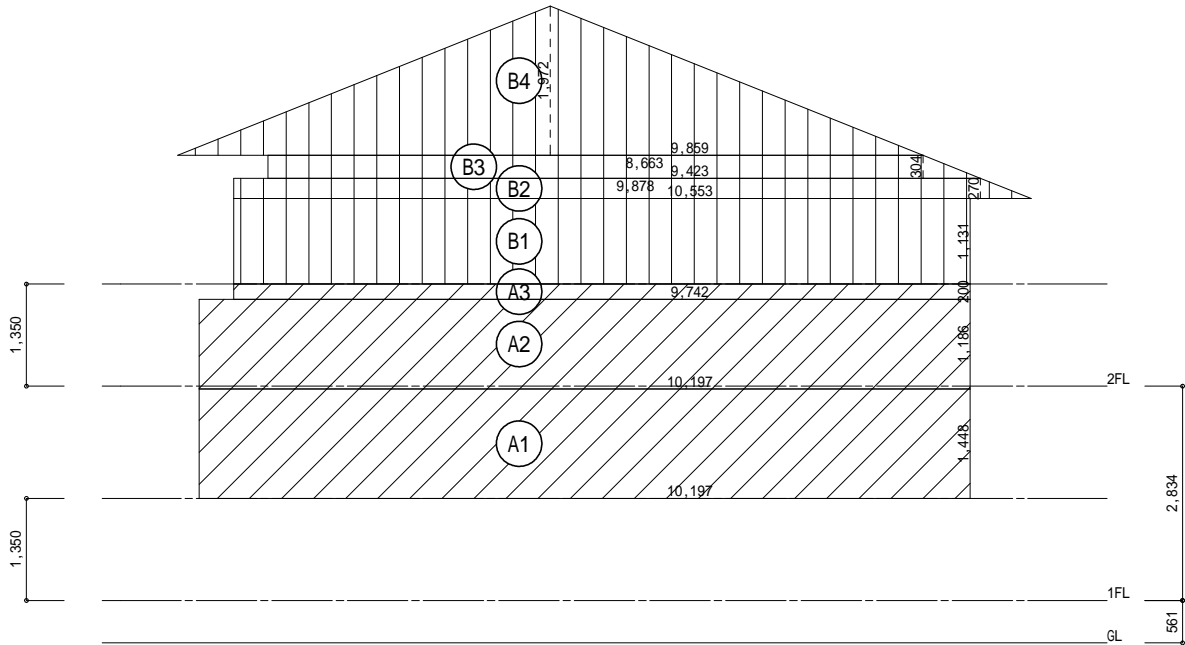
1階床面積算定図(基準法)



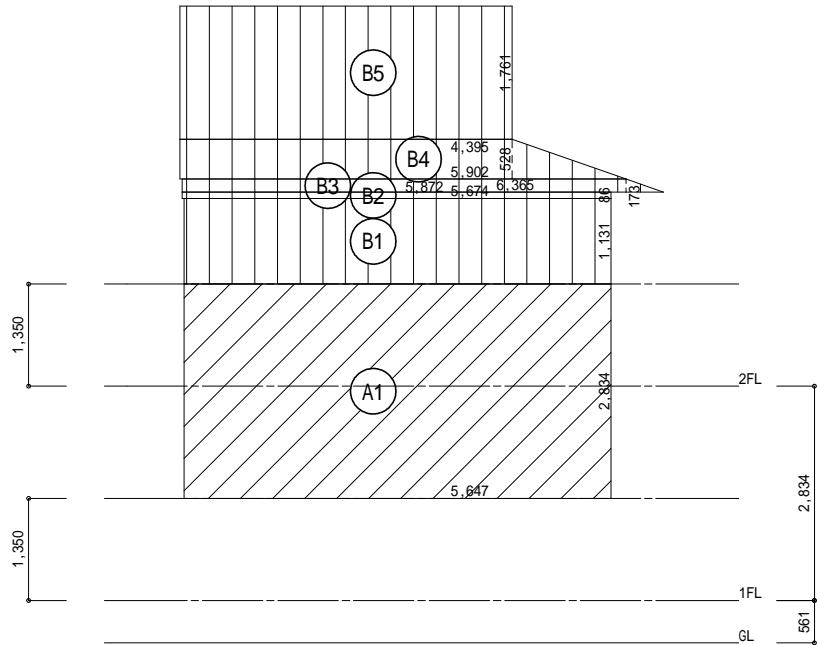
2階床面積算定図(基準法)

床面積表(基準法)				単位	㎡
階		面積		計	
2	①	3.413×0.910	3.105830	47.45	
	②	3.868×1.820	7.039760		
	③	4.550×0.910	4.140500		
	④	5.005×0.910	4.554550		
	⑤	1.820×4.550	8.281000		
	⑥	2.275×3.413	7.764575		
	⑦	1.365×2.730	3.726450		
	⑧	(0.910×1.820)×1.400÷2.1	1.104134		
	⑨	(3.185×3.640)×1.400÷2.1	7.728934		
1	①	2.503×0.910	2.277730	40.27	
	②	3.868×1.820	7.039760		
	③	4.550×0.910	4.140500		
	④	5.005×0.910	4.554550		
	⑤	1.820×4.550	8.281000		
	⑥	2.275×3.413	7.764575		
	⑦	1.365×2.730	3.726450		
	⑧	2.503×0.910	2.277730		
	⑨	0.455×0.455	0.207025		

見付面積表				単位	㎡	
方向	階	面積		計	累計	
X	2	①B1	9.742×1.131	11.018202	26.25	26.25
		②B2	(10.553+9.878)×0.270÷2.0	2.758185		
		③B3	(9.423+8.663)×0.304÷2.0	2.749072		
		④B4	9.859×1.972÷2.0	9.720974		
	1	①A1	10.197×1.448	14.765256	28.81	55.06
		②A2	10.197×1.186	12.093642		
		③A3	9.742×0.200	1.948400		
		④B1	5.647×1.131	6.386757		
		⑤B2	5.674×0.086	0.487964		
Y	2	③B3	(6.365+5.872)×0.173÷2.0	1.058501	18.40	18.40
		④B4	(5.902+4.395)×0.528÷2.0	2.718408		
		⑤B5	4.395×1.761	7.739595		
		①A1	5.647×2.834	16.003598		
		②A2	10.197×1.448	14.765256		
	1	③A3	9.742×0.200	1.948400		
		④B1	5.647×1.131	6.386757		
		⑤B2	5.674×0.086	0.487964		
		⑥B3	(6.365+5.872)×0.173÷2.0	1.058501		

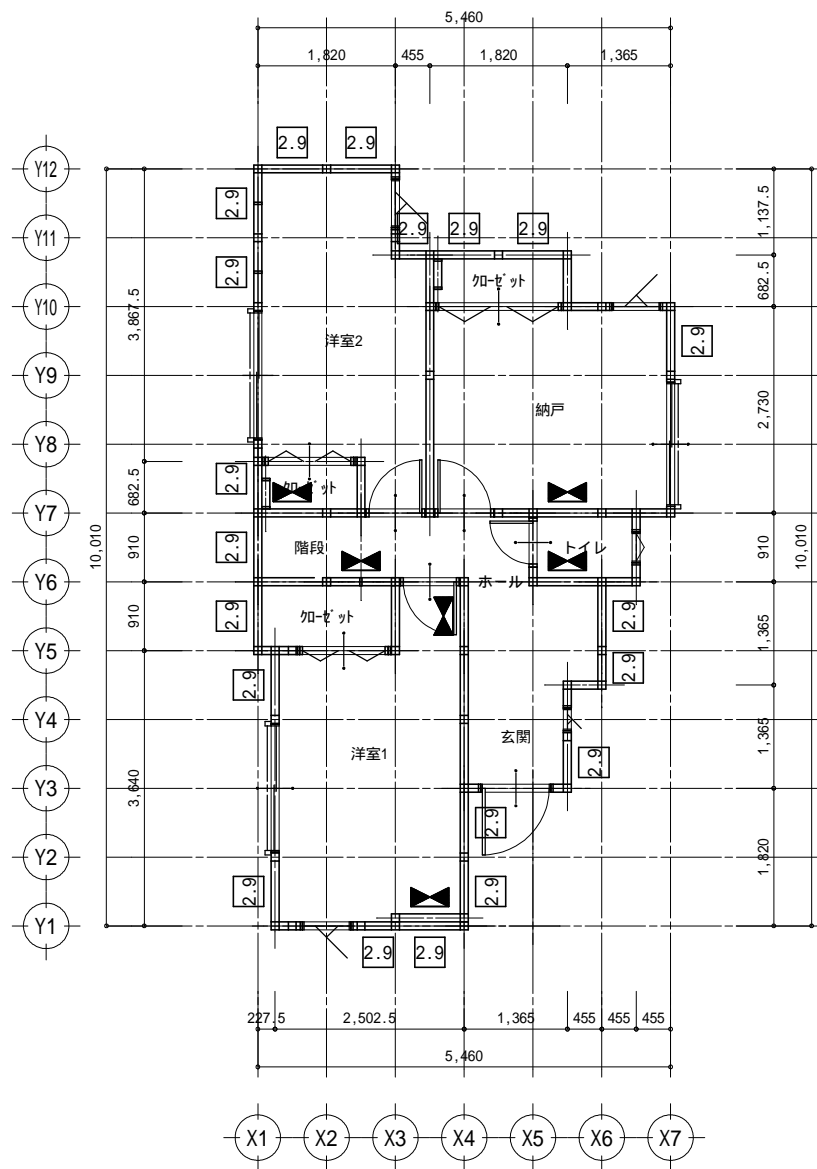


X方向(東面)見付面積算定図

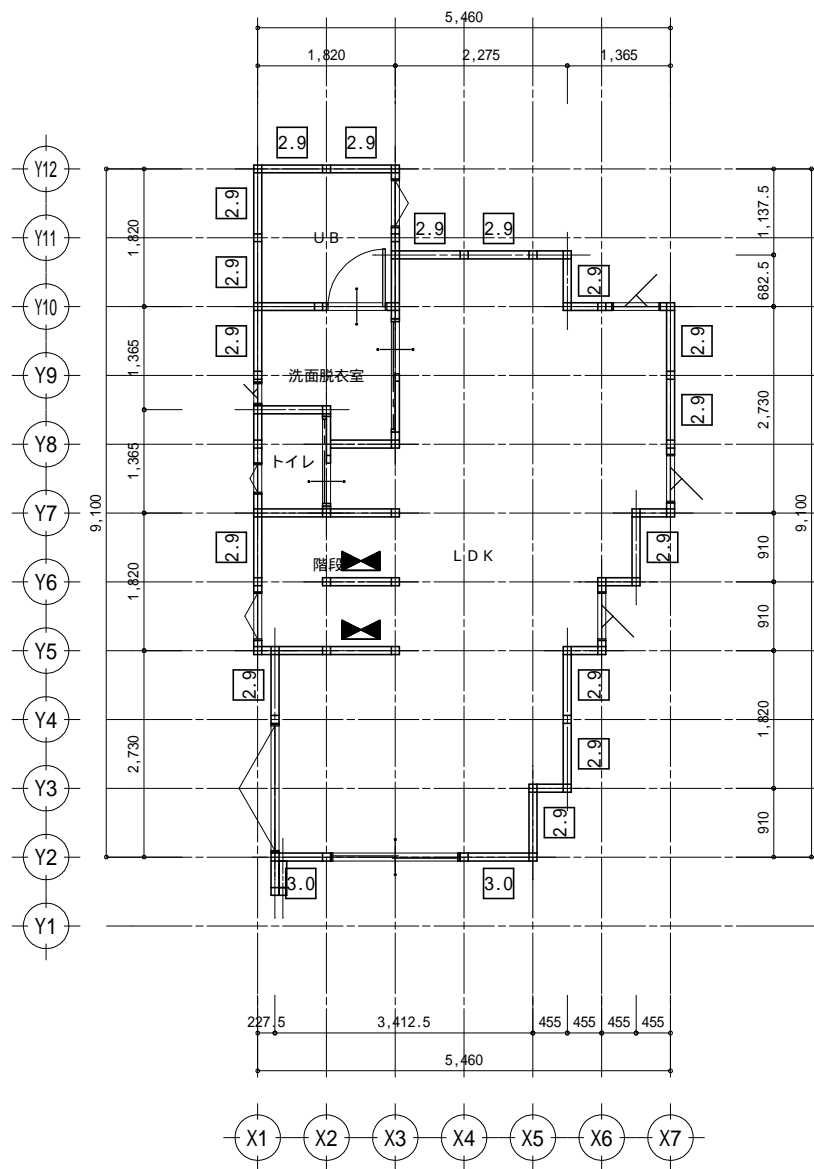


Y方向(南面)見付面積算定図






1 階平面図



2 階平面図

凡例					
記号	壁の構造( 1 ) 壁の構造( 2 )		筋かいの構造		倍率
W3 			木材45×90たすき掛	4.00	4.00
*W13 	ノボパン3.0	3.00			3.00
*W17 	ノボパン2.9	2.90			2.90

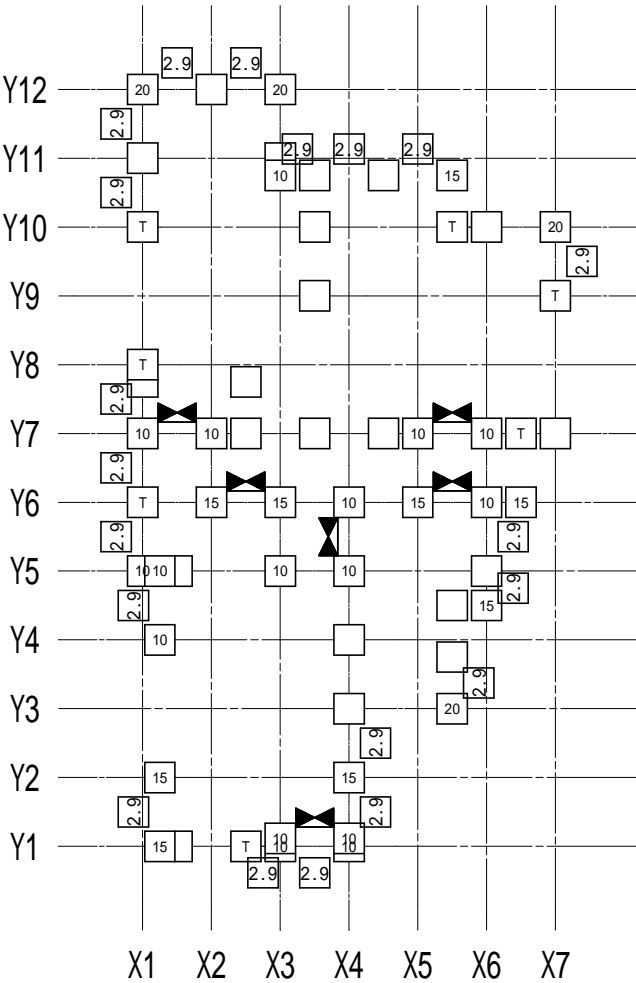
\*は任意の仕様であることを示しています。

必要壁量算定表(基準法) 単位 m				
床面積(地震力)に対する必要壁量				
階	方向	床面積	乗ずる数値	必要壁量
2	X	47.45	0.150	7.118
	Y			
1	X	40.27	0.290	11.679
	Y			

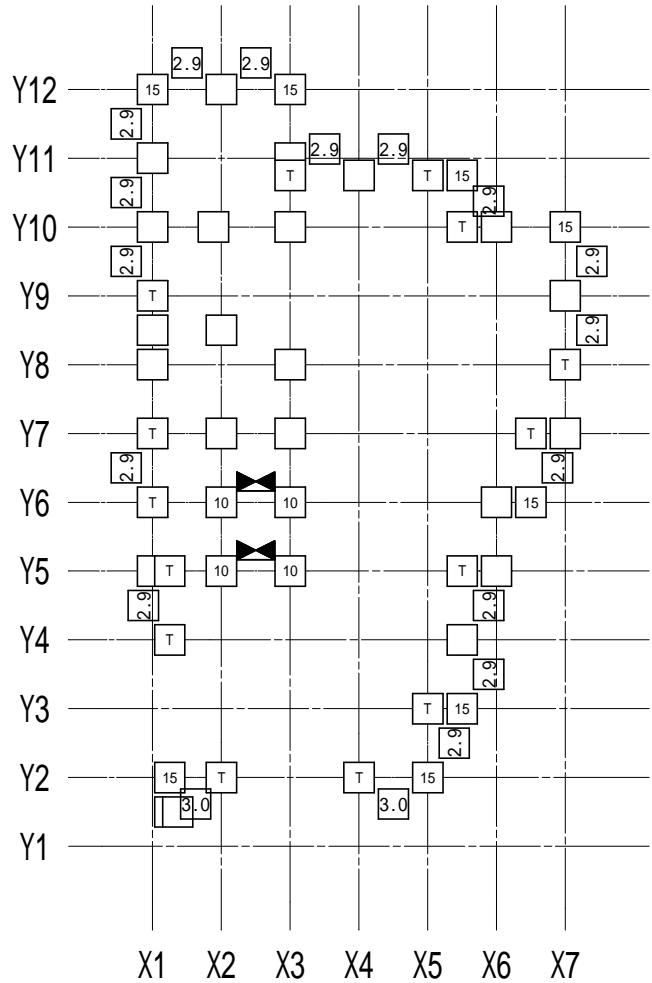
床面積(地震力)に係る条件	
一般区域	
特定行政庁が指定する軟弱地盤区域(一般区域の1.5倍)	
特定行政庁が指定するその他の区域	
壁・屋根の重量が重い建築物(土蔵造、瓦葺等)	
屋根の軽い建築物(金属板、スレート葺等)	
準耐火構造の耐火性能確保(1.25倍)	
割り増し倍率考慮	
見付面積(風圧力)に係る条件	
特定行政庁が認める強風区域	
上記以外の区域	

存在壁量算定表 単位 m							
階	方向	記号	倍率 x	長さ x	個所 =	壁量	合計
2	X	W17	2.90	0.910	4	10.556	22.612
		W13	3.00	0.910	1	2.730	
		W13	3.00	0.682	1	2.046	
		W3	4.00	0.910	2	7.280	
	Y	W17	2.90	0.910	11	29.029	31.006
		W17	2.90	0.682	1	1.977	
1	X	W17	2.90	0.455	2	2.639	34.034
		W17	2.90	0.910	5	13.195	
		W3	4.00	0.910	5	18.200	
		W3	4.00	0.910	1	3.640	
	Y	W17	2.90	0.910	11	29.029	35.965
		W17	2.90	0.455	1	1.319	
		W17	2.90	0.682	1	1.977	
		W3	4.00	0.910	1	3.640	

壁量判定表(基準法) 単位 m						
階	方向	存在壁量	判定	必要壁量		壁余裕度
				床面積(地震力)	見付面積(風圧力)	
2	X	22.612	> OK	7.118	13.125	1.72
	Y	31.006	> OK	7.118	9.200	3.37
1	X	34.034	> OK	11.679	27.530	1.23
	Y	35.965	> OK	11.679	17.205	2.09



1 階柱壁伏図

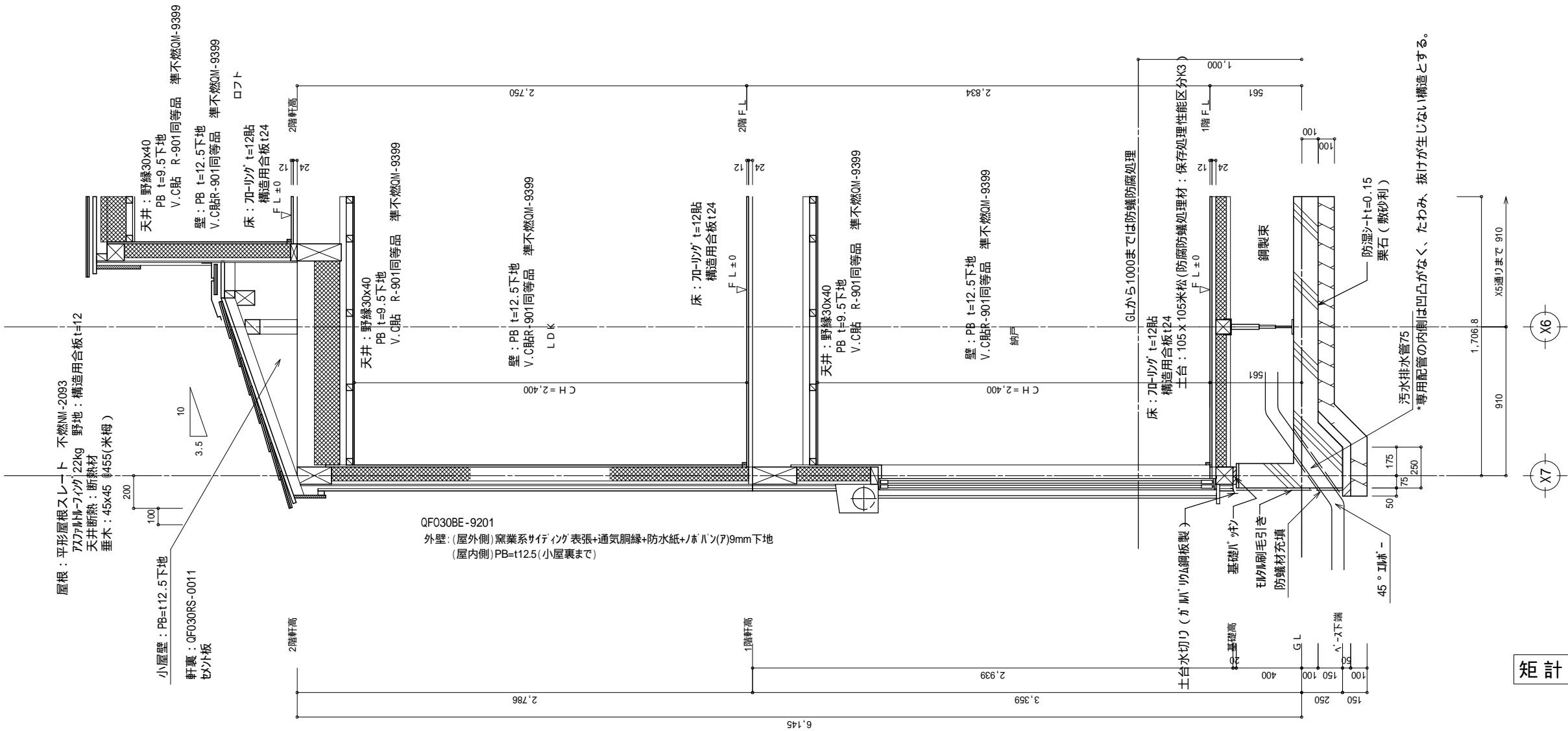


2 階柱壁伏図

接合部凡例		*接合部凡例はユーザ設定されたものです。	
記号	仕様	N	倍率
(い)	短ほぞ差し、かすがい	0.00	
(は)	T CP-T同等金物	0.65	1.00
(へ)	10 10KN同等HDコーナー金物	1.40	1.80
(と)	15 15KN用HD	2.80	2.80
(ち)	20 20KN用HD	3.70	3.70
(り)	25 25KN用HD	4.70	4.70
(ぬ)	30 15KN用HD×2又は35KN用HD	5.60	5.60
	35 35KN用HD	6.60	6.60
(る)	J1 腰掛け蟻若しくは大入れ蟻掛け+羽子板ボルト、短冊金物		1.90
(を)	J2 腰掛け蟻若しくは大入れ蟻掛け+羽子板ボルト、短冊金物×2		3.00

筋かいの種類に応じた筋かいの端部の接合部の仕様		
	筋かいの種類	接合部の仕様（構造方法）
イ	鉄筋 9	柱又は横架材を貫通し、三角座金を介してナット締め、又は鋼板添え板を用い鋼板を柱及び横架材にCN90, 8本平打ち
ロ	筋かい:15×90	柱・横架材を欠き込み、柱・横架材双方に対してN65, 5本平打ち
ハ	筋かい:30×90	鋼板添え板t=1.6mmを筋かいに対してボルト 12 及びCN65,3本平打ち、柱に対してCN65,3本平打ち、横架材に対してCN65,4本平打ち。筋かいプレートBP同等品
ニ	筋かい:45×90	鋼板添え板t=2.3mmを筋かいに対してボルト 12 及びスクリュー釘 4.5L50,7本平打ち、柱及び横架材に対してスクリュー釘 4.5L50,5本平打ち。筋かいプレートBP-2同等品
ホ	筋かい:90×90	柱又は横架材にボルト 12mmを用いて一面剪断接合

矩 計 図 S : 1 / 3 0



\*フラット35 S（耐久性・可変性に関する基準）利用

建物から屋外への排水は基礎コンクリート打設前にスリーブ管を埋設する。  
スリーブ管は内側に挿入した排水管が取り換えしやすいように余裕ある管径とする。  
スリーブ管は基礎背筋を避けた位置に挿入し、鉄筋かぶり厚を損なわないようにする。  
基礎の外周取り合い部では排水管とスリーブ管との隙間には防蟻性のある材料  
を充填する等、防蟻上有効な措置を施す。

\*浴室廻りの断熱構造については浴室下部が断熱されており気密テープ等により気流止めを設置。

\*キッチンの排水管点検は引出しより可能

\*浴室の排水管点検は浴室エプロンより可能

\*バルコニー床部分の施工に付いては下記による。

FRP防水

床勾配1/50

一般部防水立上り：水上から250mm

開口部下端防水立上り：120mm

繊維混入けい酸加圧板張 5

不燃材料を定める件告示1400号による

構造用合板貼 t=15